



Chapter 1 入試

聖学院大学にはAO入試、推薦入試、自己推薦入試、一般入試の主に4つの異なった方式の入試があります。それぞれ受験生の持つ可能性を違う側面から見ていく入試で、それが学生の資質を伸ばしていくという聖学院大学の教育の特徴を表すものとなっています。

聖学院大学では11年前からどのような学生に入ってほしいかを示したアドミッション・ポリシーを学部・学科ごとに明確に示しています。それぞれの特色を理解して自分にあった学部・学科そして入試方式を見つけ出ししていくことから大学への一歩が始まります。

聖学院大学の教育方針（ポリシー）

聖学院大学は、開学の当初より「聖学院大学の理念10カ条」（以下「理念」という）を擁し、プロテスタント・キリスト教の精神に基づく人格教育を行ってきた。それは、神によって創造されたかけがえのない存在である学生を愛し、その魂の健全な成長を配慮しつつ、リベラルアーツを基盤とする専門教育をととして各人の個性を引き出すことである。それは、コミュニケーション力や判断力などの業務遂行能力を高め、現代の市民社会の各分野でその担い手として貢献できる人物の育成にほかならない。

現在各大学は日本社会から「大学教育の質保証」を問われているが、本学はこの理念に基づく教育方針の貫徹をもってその応えとしたい。具体的には、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションに分けて以下のとおり「聖学院大学の教育方針」を宣言する。また各学部・学科・研究科ごとの固有の方針も掲げる。

ディプロマ・ポリシー

聖学院大学は、どの学部学科であれ、「理念」に即した精神性と価値観および総合的判断力を

備え、かつ幅広い教養と専門的知識を身につけることにより、自由と人権を重んじ、隣人愛と使命感をもって人類の平和と福祉の実現のために社会の各分野で貢献できる人およびさらに大学院での専門研究へ発展させることのできる人の育成を目指し、指定の卒業履修単位を獲得した学生にそれぞれのディプロマを授与する。

カリキュラム・ポリシー

聖学院大学は、上記ディプロマを授与されるにふさわしい学生の育成のため、礼拝と授業と大学行事をととして行われるキリスト教人格教育を中心としながら、一方では各学部学科の特性にあった基礎知識の充実と教養教育を深め、同時に各学部学科の専門教育を行う。

キリスト教人格教育とは、何よりも神によって創造されたかけがえのない存在である学生一人ひとりを愛し、その人格を重んじ、その魂の健全な成長を配慮しつつ、聖学院教育憲章に謳われている「Only one for others」の精神をもって、人間一人ひとりの自由と人権を守り育成する教育である。そのために、少人数教育を重んじ、人

と人との人格的な触れ合いを大事にしていく。

またこの人格教育を中心にして、基礎教育の充実とともに幅広い教養を身につけるためのリベラルアーツ教育を行っていく。これは、学生一人ひとりが、自分の置かれた状況を的確に判断し、自分にとっても他者にとってもより良い生き方ができる道を模索し、選び取り、行動できる、そうした主体性を確立する教育である。そして、こうした土台の上に、各学部・学科の専門教育が行われ、そのためのカリキュラム体系が形成される。

アドミッション・ポリシー

聖学院大学は、上記カリキュラムに即した教育を受けるにふさわしい学生を選抜、あるいは見出すため、「理念」に共感し、神から与えられた固有の賜物を人間形成的に、学問的に本学で開花させたいと願う志望者を種々の選抜方法により、受け入れ、あるいは見出して行く。

聖学院大学はセンター試験を導入していません。

本学がセンター試験を導入しない理由

聖学院大学は独立行政法人大学入試センターが実施する「センター試験」を利用した入試を導入していません。全国の大学の約9割が何らかの形でセンター試験を利用している中で、志願者増につながり、その結果偏差値アップにつながるメリットがあるのになぜ参加しないのかと問われることが多くあります。本学は、ポリシーをもって「センター試験」利用入試を導入していません。それは以下の理由によります。

まず第一の理由として、聖学院大学はキリスト教大学ですので教職員が日曜礼拝を守るという立場から日曜日に入試を行うことを開学以来

してきませんでした。センター試験を導入することは、大学を試験会場として提供するだけでなく教職員が試験監督として働く仕組みとなりますので、本学のアイデンティティであるキリスト教学校のよき伝統と相反することとなります。現在の「センター試験」の実施方法では本学として参加は難しいと判断しているわけです。

次にセンター試験の内容についてです。考える力よりも暗記にたよる問題が多く、受験のテクニックに流れがちです。本学ではできるだけ丁寧に受験生を見て、本学に合う学生を入学させたいと考えています。学力試験を課す本学の一般

入試においても、外部評価を入れるなど「入試問題の良問化」に努めています。

最後に、大学の序列化の問題です。センター受験後の自己採点を予備校に委ね、これによって大学の入学難易度が決められている今のセンター試験の現状には疑問を感じざるを得ません。

点数によるのではなく、むしろ点数化できない個性や人間性を元に本学の個性に合う学生に入学してもらいたい、そのためには、正しい評価基準を持った新しい入試制度を作ることこそ大切であると考えています。

各学科のアドミッション・ポリシー

聖学院大学の教育方針(ポリシー)は各学部・学科にも、それぞれ、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーと3つありますが、ここでは、各学科のアドミッション・ポリシーを紹介します。受験の際にはよく読んで参考にしてください。他のポリシーは、聖学院大学のホームページに掲載しています。

http://www.seigakuin.jp/04general/univ_policy.htm

政治経済学科	① いかなる職業分野であれ、個性を見失うことなく、積極的に社会的役割を担い、貢献しようとする成熟した社会人を将来の自己像とする若者を迎える。
コミュニティ政策学科	① 地域社会など多様なコミュニティの問題に関心・興味があり、公務、経済活動、地域活動を通して地域社会の活性化に関わりたい人を求める。 ② 政治、経済、経営、情報コミュニケーションを総合的に学びたい人を求める。 ③ 政治、経済、まちづくり、経営について体験的、実践的な学びをしたい人を求める。
欧米文化学科	① ヨーロッパやアメリカの文化に触れることで、自分の視野や考え方、生き方、行動力を広げたい人を求める。さらに実社会で必要になる理解力、考察力、文章表現力、コミュニケーション力を伸ばして、国内外で活躍したい人を歓迎する。 ② 海外留学をしたい人、将来海外で活躍したい人、英語を用いて働きたい人、英語が好きな人や伸ばしたい人、欧米の諸言語を学びたい人など、留学生とともにコミュニケーション力を活躍の力にしたい人を求める。 ③ キリスト教を基盤とした考え方を学ぶことをとおして、「よく生きる」ということをじっくり考え、他者に関わろうとする人を求める。
日本文化学科	① 知的好奇心にあふれ、柔軟な感性をもって、学習や文化的活動に自主的意欲的に取り組むことのできる人を歓迎する。 ② 日本の歴史・文学・思想・文化のさまざまな領域について、高校までの学習の上に、さらに幅広く、かつ、深く学びたいと願っている人を求める。 ③ 日本の文化を多面的に学ぶことで、世界のグローバル化の中で、自己を知り、他者を知る態度を、正しく身につけることに興味のある人を受け入れる。
児童学科	① 子どもの人格に真向かい、個々の状況に共感して細やかに理解し、それぞれの発達に応じた関わりや教育的配慮をしつつ、原点から人間を知ろうと努力する学生を求める。 ② 日頃から身のまわりのことに関心をもって、物や人との関わりあいを大切に、仲間と協同して活動し、より良い人間関係を築こうという意欲をもち、教育や保育に携わることを希望する学生を求める。 ③ 他者の立場に立って自身の考えや行動を組み立て、他者に伝わるようにそれを表わそうとし、自己の主張にとらわれず、他者の声に耳を傾けて自らの人格に磨きをかけることをもなう学生を求める。
人間福祉学科	① 「神を仰ぎ人に仕う」という建学の精神を基盤にして、「福祉のこころ(困難を抱えた人々への献身と平等志向)」をもち、人間福祉と福祉社会の実現に寄与することを希求し実践する人を求める。 ② 高等学校と大学の連携による一貫した福祉スペシャリスト育成をめざすため、これまでに何らかの福祉および関連の勉強をしてきた学生に、より高度な専門職への道をたどることを期待する。 ③ 質の高い社会福祉や実践のあり方をともに探究できる意欲ある学生(自らに課題を有する学生を含め)を求める。 ④ 国際(アジア型)社会福祉のあり方を探求し、その担い手となりうる人を求める。

2011 年度入試結果

全入試結果 ※特別入試(社会人・帰国生・留学生)・秋学期入試を含み、再入学・編入学は含まれておりません

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	100	229	213	184	127	57	32	1.2	112	19
	コミュニティ政策	100	217	204	185	129	56	43	1.1	107	26
人文	欧米文化	100	192	180	169	132	37	89	1.1	100	56
	日本文化	100	196	187	167	140	27	73	1.1	101	41
人間福祉	児童	100	233	216	158	149	9	97	1.4	118	76
	人間福祉	100	193	180	168	135	33	66	1.1	109	42
合計		600	1,260	1,180	1,031	812	219	400	1.1	647	260

AO[レポート型]入試結果

学部	学科	募集定員*	エントリー	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 エントリー/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	35	8	—	—	6	6	0	1	1.3	5	0
	コミュニティ政策	35	7	—	—	3	2	1	0	2.3	3	0
人文	欧米文化	35	12	—	—	8	7	1	7	1.5	7	6
	日本文化	35	11	—	—	10	10	0	5	1.1	10	5
人間福祉	児童	35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	人間福祉	35	8	—	—	5	5	0	1	1.6	5	1
合計		210	46	—	—	32	30	2	14	1.4	30	12

*募集は、AOレポート型・講義型合計の定員

※児童学科の2011年度AO[レポート型]は募集なし

AO[講義型]入試結果 (審査日 ①2010年8月21日 ②9月25日 ③10月23日 ④12月18日 ⑤2011年1月22日)

学部	学科	募集定員*	エントリー	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 エントリー/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	35	31	—	—	28	22	6	3	1.1	27	3
	コミュニティ政策	35	28	—	—	27	23	4	2	1.0	22	2
人文	欧米文化	35	20	—	—	20	16	4	9	1.0	17	8
	日本文化	35	20	—	—	19	18	1	6	1.1	18	6
人間福祉	児童	35	81	—	—	60	58	2	44	1.4	56	40
	人間福祉	35	31	—	—	29	26	3	12	1.1	27	12
合計		210	211	—	—	183	163	20	76	1.2	167	71

*募集は、AOレポート型・講義型合計の定員

推薦入試結果 (公募推薦審査日 2010年11月13日) ※公募・指定校・クリスチャン・キリスト教関係者推薦を含みます

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	30	27	27	27	4	1.0	27	4
	コミュニティ政策	30	21	21	21	3	1.0	21	3
人文	欧米文化	30	29	29	28	16	1.0	28	16
	日本文化	30	35	35	35	17	1.0	33	16
人間福祉	児童	30	31	31	31	22	1.0	31	22
	人間福祉	30	19	19	19	12	1.0	19	12
合計		180	162	162	161	74	1.0	159	73

自己推薦入試結果 (審査日 2011年1月10日) ※スポーツ推薦(①8月21日 ②9月25日 ③12月18日)を含みます

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	5	1	1	1	1	0	0	1.0	1	0
	コミュニティ政策	5	5	5	5	4	1	2	1.0	3	2
人文	欧米文化	5	1	1	1	1	0	0	1.0	1	0
	日本文化	5	1	1	1	0	1	0	1.0	1	0
人間福祉	児童	5	4	4	3	2	1	2	1.3	3	2
	人間福祉	5	5	5	5	5	0	2	1.0	4	1
合計		30	17	17	16	13	3	6	1.1	13	5

一般英語特別入試結果（試験日 2011年1月10日）

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 受験者／合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	2	2	2	0	2	0	1.0	2	0
	コミュニティ政策	0	0	0	0	0	0	—	0	0
人文	欧米文化	3	3	3	3	0	0	1.0	1	0
	日本文化	0	0	0	0	0	0	—	0	0
合計		5	5	5	3	2	0	1.0	3	0

※審査方法が英語リスニング・面接のため、最高点／合格最低点／合格平均点は掲載しておりません。
※児童学科・人間福祉学科は募集なし

一般A日程入試結果（試験日 2011年2月4日） ※点数は200点満点

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	最高点	合格 最低点	倍率 受験者／合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	49	46	42	29	13	8	164	86	1.1	9	3
	コミュニティ政策	39	38	36	27	9	10	150	86	1.1	4	0
人文	欧米文化	33	33	31	27	4	16	164	82	1.1	4	2
	日本文化	38	36	32	29	3	15	155	84	1.1	8	1
人間福祉	児童	47	45	28	27	1	10	160	101	1.6	11	2
	人間福祉	44	43	41	39	2	11	160	78	1.0	12	1
合計		250	241	210	178	32	70	—	—	1.1	48	9

一般B日程入試結果（試験日 2011年2月14日） ※点数は200点満点

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	最高点	合格 最低点	倍率 受験者／合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	23	15	12	9	3	3	141	90	1.3	6	0
	コミュニティ政策	20	17	16	13	3	4	141	85	1.1	7	1
人文	欧米文化	22	18	18	16	2	10	149	97	1.0	5	4
	日本文化	24	20	19	17	2	7	154	101	1.1	4	0
人間福祉	児童	37	30	23	22	1	13	147	108	1.3	11	5
	人間福祉	24	19	19	17	2	9	147	85	1.0	7	2
合計		150	119	107	94	13	46	—	—	1.1	40	12

一般C日程入試結果（試験日 2011年3月4日） ※点数は200点満点

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	最高点	合格 最低点	倍率 受験者／合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	47	41	32	9	3	156	96	1.1	13	0
	コミュニティ政策	38	34	33	25	8	3	160	84	1.0	11	1
人文	欧米文化	35	31	31	26	5	15	159	95	1.0	12	7
	日本文化	37	36	29	26	3	11	160	102	1.2	12	3
人間福祉	児童	27	22	10	8	2	4	164	117	2.2	3	3
	人間福祉	31	28	27	19	8	9	164	80	1.0	15	5
合計		218	198	171	136	35	45	—	—	1.2	66	19

一般D日程入試結果（試験日 2011年3月14日） ※D日程特別入試（東日本大震災対応）（①3月28日②4月4日③4月13日）を含みます

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 受験者／合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	6	5	2	1	1	1	2.5	2	1
	コミュニティ政策	23	19	19	14	5	3	1.0	15	2
人文	欧米文化	15	13	13	9	4	8	1.0	10	5
	日本文化	10	8	8	5	3	2	1.0	6	2
人間福祉	児童	5	4	2	1	1	1	2.0	2	1
	人間福祉	15	13	13	5	8	5	1.0	10	3
合計		74	62	57	35	22	20	1.1	45	14

※審査方法が小論文・面接のため、最高点／合格最低点／合格平均点は掲載しておりません。

※一般入試全体の募集定員は、全学科 各30名でした。

学科が求める学生像に従い、意欲や将来の志望、人間性などを総合的に評価する

AO（アドミッションズ・オフィス）入試

- Point. 1 点数化できない意欲や将来への展望、人間性を面談と課題レポートや講義のノートテキングを通して審査します。
- Point. 2 課題に真剣に取り組み、その中から問題を発見し、その解決に努力する前向きな姿勢を評価します。
- Point. 3 「レポート型」か「講義型」の二つの方式から選べます。

選考のポイント

本学ではAO入試を1999年に全国に先駆けて早い段階で導入しました。今年度で11年が経過するわけですが、その間に毎年、審査方法を何度も見直し、高校にもAO入試の考え方と本学が求める学生像を伝える努力してきましたので、「聖学院大学のAO入試」として理解されるようになっていきます。一人ひとりを大切にするという本学の建学の精神がよく表れた入試です。エントリーしてきた受験生にしっかりと向き合うことを行っていますので、みなさんも真剣に取り組んでください。

「レポート型」では、オープンキャンパスなどでまず「事前相談」が行われます。「事前相談」でエントリーが認められなければ「レポート型」でのエントリーはできません。「レポート型」へのエントリーを希望される方は早めにオープンキャンパスなどに参加して必ず希望される学科の教員に「事前相談」をしてください。（なお児童学科は「レポート型」での募集はありません。）

「講義型」は、大学での学びの基本となる「ノートテキング」で講義に臨む姿勢や意欲、まとめる力などを見ていくものです。講義を聞いてノートを取り、さ

らにそのノートを整理して提出します。その上で面接が行われます。学科によっては「グループ面接」の形式で行われることもあります。「講義型」は「事前相談」がなくてもエントリーできますが、学科の教員との面談をおすすめします。

「講義型」でのエントリーを考えている方にはオープンキャンパスやサマースクールに参加して大学の講義がどのように行われるのかを体験しておくことをお勧めします。高校生の受験生がとまどうことがないように、講義もできるだけノートを取りやすいように工夫してあります。

両形式とも高校との連携も大事にして審査がすすめられていきますので、困ったこと、わからないことがあったら担任の先生にも相談してみてください。

詳しくは『AO入試・スポーツ推薦入試ガイド』をよく読んでください。「レポート型」、「講義型」の両形式とも学科ごとに先輩学生の体験談を紹介していますので参考にしてください。

2012年度AO入試概要

募集定員

■政治経済学部		■人文学部		■人間福祉学部		*児童学科はAO入試[講義型8・9・12・1月]のみ実施します。
・政治経済学科	35名	・欧米文化学科	35名	・児童学科	*40名	AO入試[レポート型]方式での募集はありません。
・コミュニティ政策学科	35名	・日本文化学科	35名	・人間福祉学科	35名	*児童学科、人間福祉学科は、AO入試[英語特別]方式での募集はありません。

エントリーカード(レポート型／講義型)・出願(英語特別)受付期間

入試区分	審査日	郵送受付	窓口受付	インターネット受付
レポート型	—	2011年 8月 1日(月)～2012年2月1日(水)	—	—
講義型	I期: 8月27日(土)	2011年 8月 1日(月)～ 8月24日(水) [必着]	2011年 8月24日(水)9:00～12:00	2011年 8月 1日(月)～ 8月24日(水) (正午)迄
	II期: 9月24日(土)	2011年 8月 1日(月)～ 9月21日(水) [必着]	2011年 9月21日(水)9:00～12:00	2011年 8月 1日(月)～ 9月21日(水) (正午)迄
	III期:10月22日(土)	2011年 9月 1日(木)～10月19日(水) [必着]	2011年10月19日(水)9:00～12:00	2011年 9月 1日(木)～10月19日(水) (正午)迄
	IV期:12月17日(土)	2011年11月 7日(月)～12月14日(水) [必着]	2011年12月14日(水)9:00～12:00	2011年11月 7日(月)～12月14日(水) (正午)迄
	V期:2012年1月21日(土)	2011年12月14日(水)～2012年1月18日(水) [必着]	2012年 1月18日(水)9:00～12:00	2011年12月14日(水)～2012年1月18日(水) (正午)迄
英語特別	12月17日(土)	2011年11月 7日(月)～12月14日(水) [必着]	2011年12月14日(水)9:00～12:00	2011年11月 7日(月)～12月14日(水) (正午)迄

審査結果通知・内定者書類提出期間・合格発表日・手続期間

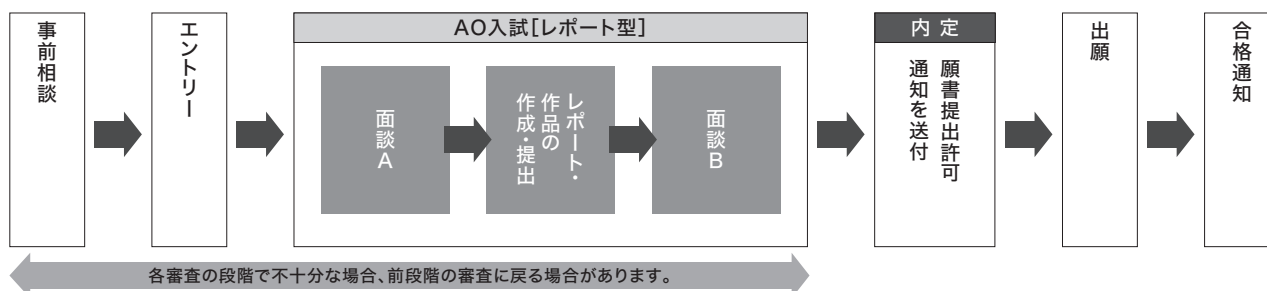
入試区分	審査結果通知日(願書出願許可書到着日)	内定者書類提出(出願)期間[必着]	合格発表日	手続期間
レポート型	「面談B」終了後 (到着時期に対応する出願期間に 願書提出)	2011年10月11日(火)～10月14日(金)	10月16日(日)	10月17日(月)～10月21日(金)
		2011年11月14日(月)～11月18日(金)	11月20日(日)	11月21日(月)～11月25日(金)
		2011年12月12日(月)～12月16日(金)	12月18日(日)	12月19日(月)～12月27日(火)
		2012年 1月16日(月)～ 1月20日(金)	1月22日(日)	1月23日(月)～ 1月27日(金)
		2012年 2月27日(月)～ 3月 1日(木)	3月 4日(日)	3月 5日(月)～ 3月 9日(金)
講義型	I期: 9月1日(木)以降 II期: 9月27日(火)以降 III期:10月25日(火)以降 IV期:12月18日(日)以降 V期:2012年1月24日(火)以降	I期・II期:2011年10月11日(火)～10月14日(金)	10月16日(日)	10月17日(月)～10月21日(金)
		III期:2011年11月14日(月)～11月18日(金)	11月20日(日)	11月21日(月)～11月25日(金)
		IV期:2012年 1月16日(月)～ 1月20日(金)	1月22日(日)	1月23日(月)～ 1月27日(金)
		V期:2012年 2月27日(月)～ 3月 1日(木)	3月 4日(日)	3月 5日(月)～ 3月 9日(金)
			12月18日(日)	12月19日(月)～12月27日(火)
英語特別	—	—	12月18日(日)	12月19日(月)～12月27日(火)

※AO入試は[レポート型][講義型][英語特別]を合わせ、各学科とも定員になり次第、終了となります。

レポート型

じっくりと「大学で学ぶ意味」を考える。

AO入試[レポート型]の流れ



審査方法 面談方式＝レポート・資料・課題等の提出による面談

面談[審査]日 面談Aの実施日時は、エントリー者に別途連絡します。ただし、面談を受けるには、面談実施予定日の3日前までにエントリーカードを提出（郵送必着）しなければなりません。面談Bの実施日は、連絡します。いずれの場合も面談の開始時間は、エントリーカードや課題の到着後に連絡いたします。面談Aと面談Bの間にレポート等が課されます。面談は2回以上になります。

提出書類 エントリー時＝エントリーカード 内定者書類提出（出願時）＝入学願書（検定料含む）・調査書

AO[レポート型]入試 2011年度入試結果

学部	学科	募集定員*	エントリー	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 エントリー/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	35	8	—	—	6	6	0	1	1.3	5	0
	コミュニティ政策	35	7	—	—	3	2	1	0	2.3	3	0
人文	欧米文化	35	12	—	—	8	7	1	7	1.5	7	6
	日本文化	35	11	—	—	10	10	0	5	1.1	10	5
人間福祉	児童	35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	人間福祉	35	8	—	—	5	5	0	1	1.6	5	1
合計		210	46	—	—	32	30	2	14	1.4	30	12

*募集定員は、AOレポート型・講義型合計数

※児童学科の2011年度AO[レポート型]は募集なし

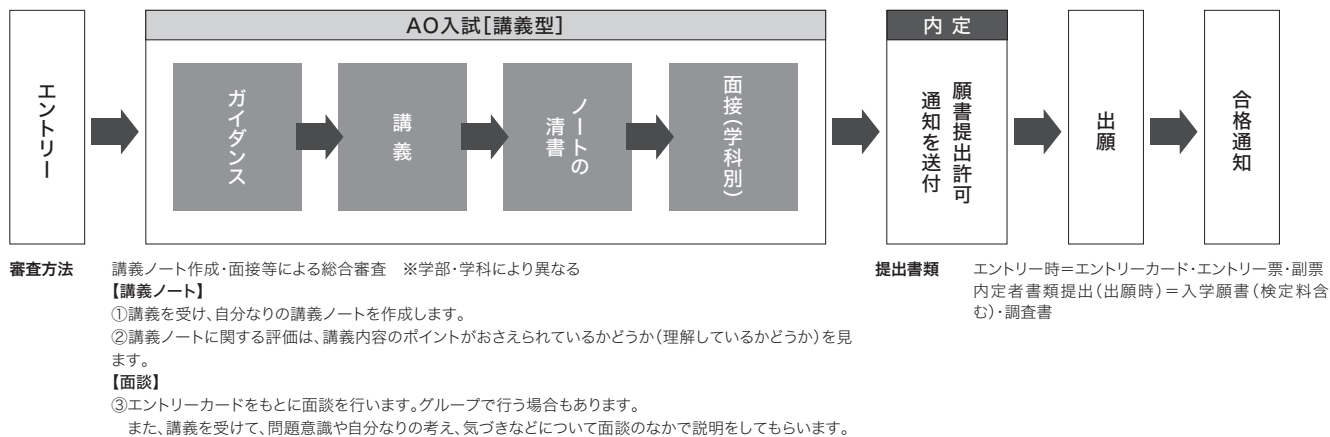
過去の合格者レポートタイトル

政治経済学科	● Jリーグ全体における浦和レッズと他チームとの経営比較 ● ワーキング・ブアについて ● ハッ場ダム問題について ● 国際政治と宗教について ● ガソリンの価格変動について
コミュニティ政策学科	● 浦和レッズが地域活性化に与えた影響 ● ボーイスカウトから見た子どもたち ● 犯罪の増加と裁判員制度について ● 我が国資本主義形成における渋沢栄一の功績 ● 騎西町の環境問題とその取り組みについて ● 自分が選ばれたらー
欧米文化学科	● イタリアと日本の食文化 ● 西洋のファッション史 ● ビートルズ「HELP」を巡って ● セリエAの八百長事件の問題 ● 日本に対する外国人旅行者の意識
日本文化学科	● 人間生活と妖怪との係わりー犬の場合ー ● 夏目漱石はなぜ「こころ」を書いたのか ● 読書の意味を考える ● 東軍側からみた関が原の戦い ● 東京方言について
人間福祉学科	● 現代の思春期のこどもが抱えるこころの問題とその支援 ● 知的障害者の暮らしやすい社会とはー弟の事例からー ● ボーイスカウトにおけるバリア ● 日本人であること ● 絵を使った心理療法

講義型

講義を聞いて大学の学びをイメージする。

AO入試[講義型]の流れ



AO[講義型]入試 2011年度入試結果 (審査日 ①2010年8月21日 ②9月25日 ③10月23日 ④12月18日 ⑤2011年1月22日)

学部	学科	募集定員*	エントリー	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 エントリー/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	35	31	—	—	28	22	6	3	1.1	27	3
	コミュニティ政策	35	28	—	—	27	23	4	2	1.0	22	2
人文	欧米文化	35	20	—	—	20	16	4	9	1.0	17	8
	日本文化	35	20	—	—	19	18	1	6	1.1	18	6
人間福祉	児童	35	81	—	—	60	58	2	44	1.4	56	40
	人間福祉	35	31	—	—	29	26	3	12	1.1	27	12
合計		210	211	—	—	183	163	20	76	1.2	167	71

*募集定員は、AOレポート型・講義型合計数

受験生へのアドバイス

講義中は、板書はもちろん、講義内容を詳細にメモすることが必要です。教員が強調したこと、繰り返したことはその講義のポイントなので、板書されていなくとも書き留めておき、清書の際に活かすとよいでしょう。スライドが用いられる場合にも、その文字を筆記するだけでなく、耳で聞いた解説内容をしっかり理解して書きとめることが求められています。質問は歓迎されますので、内容や用語が分からない時には進んで質問をして、理解を深めると良いでしょう。

清書の時間を利用して、この講義の中心的な問い、結論、そして結論に至るまでの重要なポイントは何かについて改めて考え、講義中にとったノートの内容につけ加えましょう。ポイントを捉えて、それを自分の言葉にして表現する努力が望まれます。下書きノートは審査の対象にはならないので、下書きに書かれていることを書き漏らさないように注意すること。

また、誤字のないように辞書で確認しておく必要があります。

面接にあたっては、まずリラックスし、心を開いて会話を楽しむような気持ちでのぞむことが大事です。面接では、受講内容を振り返り、その流れを自分の言葉で説明したり、感想や意見を求められたりするので、その心づもりをしておいてください。

対策

普段の授業でも、先生の話す事柄を注意深く聴き、大事だと思ったことを自覚的に書き記す習慣をつけておきましょう。また、新聞、テレビやホームページで流れる、ニュースや解説番組などに、耳と目を向け、その内容を知識として心に留めるとよいでしょう。

英語特別入試

MP3機器を使用する大学入試センター試験形式の英語リスニング試験。センター試験のリスニングの力試しとなるような出題形式にしています。ホームページでリスニングの過去問題を公開していますので、チャレンジしてみてください。

審査方法 英語リスニング(30分・オーラルコミュニケーションI/II)・面接

提出書類 入試願書(副票/受験票)・調査票・検定料

*2011年度の英語特別入試結果は、P.9参照

2011年度講義の内容

政治経済学科 コミュニティ 政策学科	8月 講義テーマは「無党派層は政治に関心なのか」でした。配布された〈社会階層に関する調査〉結果の表から、支持政党を持っていない無党派層はある階層に偏っていて、必ずしも政治に関する知識や関心が低いわけではない、という傾向を説明しました。配布された表に書き込みをしながら、表を理解できたかどうかを鍵となる講義でした。 9月 「法学」では「法を守る精神」をテーマに、社会における「市民相互の信頼関係」と「法を守る意識」の重要性について、講義・解説しました。モラルの低下が言われる社会において、具体的な社会問題を題材に、市民社会を守るために不可欠な「法」や行政の働きについて検討しました。法を学ぶ目的は、将来にわたって、市民社会の一員としての基本的なものの考え方、行動の指針につながるものであるということを知りました。 10月 講義テーマは「政治とは何か」。ごくごく一般的に用いられるこの言葉が、過去どのように定義されてきたかを、様々な政治学者、政治家の言葉を紹介しながら説明しました。人びとが争いあう時代と、戦争が終わって平和を作り出そうとする時代とは「政治」の意味は大きく異なります。背景となる時代に対応して「政治」の概念が異なることを理解し、現代の日本における「政治」の役割について自分の意見をもつことが大切です。	12月 テーマは「地域を活性化する中小企業」。日本と英国の中小企業数の推移を比較しました。日本では、まちづくり会社による中心市街地活性化のため地域政策立案権を中央から地方に移しましたが企業数は大幅減少。英国では、中央政府が地域政策立案権を欧州連合に移し、様々な起業支援策を行い企業数は大幅増加。この結果、日本の成人一人当たりの中小企業数は英国の約半数に過ぎず「起業」を促す政策が求められている事情を問いました。 1月 講義テーマは「お店の本音とお客の本音」でした。具体的な例としてそば屋を取り上げました。お店は最初「利益」を出そうと考え、その結果、売上を増やし経費を減らそうとします。しかし、お客は大きな「満足」を得たいと考え、その結果、品質が高く価格が安いお店に入ります。お店の考え方ではお客はお店に入らないから利益が出るはずがないのです。講義では最後に『お客様が本当に満足するような商品やサービスを提供すること』が大切だと結論づけました。お店の利益はお客の満足の結果であると。
	8月 講義のテーマは「不老長生」へのあこがれ～古代中国の仙術とその展開～。「仙人」というキャラクターに対する日本人の印象を整理し、中国における「仙人」像と対照しながら、古代中国での「不老長生」への挑戦を講義しました。また、「仙人」へと変貌するための薬の開発を行った背景を探り、錬金術との関係を紹介するという内容でした。講義の合間にはキーワードとなる漢字そのものの成り立ちなども紹介しました。 9月 講義のテーマは、「日本語を外国語として学ぶとー「国語」でない「日本語」の学習ー」。「外国語」としての日本語を学ぶということは、われわれが国語(第一言語)として日本語を覚えるのとどう違うのかを、「表記」「発音」「文法」の点について例示しました。すなわち、四種類混合表記などの表記の特殊性、促音・長音・アクセントなど発音の難しいところ、文法においては、非欧米・中国語型の文法規則・多彩な用法などについて述べました。 10月 講義のテーマは「危機言語の現実」でした。パワーポイントを利用し、世界中で知られている生きた言語の数と言語が100以上ある国から始めました。次に衰退や消滅している現地語の数を考えながら、日本は多言語社会としてとらえ、標準日本語が少数言語や方言を危機にさらしていることを考察しました。最後に、危機言語の復興について講義しました。	12月 講義のテーマは「『旅行記』との対話」。まず『ニルスのふしぎな旅』に触れ、それが単なるファンタジーでなく、〈時代の課題〉と向き合った作品であることを説きました。次に伊勢参詣の『旅日記』から、江戸時代の庶民の暮らしに迫りました。最後に、明治初期の日本を訪ねた外国人の『滞日日記』を取り上げ、その資料的意義を問いました。テキストを漫然と「読む」のではなく、主体的に「読み取る」姿勢の重要性に注意を促しました。 1月 講義のテーマは「お金もうけは悪いことか?—お金もうけの倫理学」。お金をもうけたがる人には、どこかマイナスのイメージがつきまといますが、果たして、お金もうけをすることは、善いことなのか悪いことなのか。そうした問題を、近代の日本とヨーロッパの思想家の考えも手がかりとしながら考察しました。情報を知識として覚えることよりも、なぜそう考えられるのか、という議論の展開を理解することを重視しました。
欧米文化学科 日本文化学科	8月 時間意識は人間の生き方にかかわります。「子どもの生活と時間」と題したこの講義では、自明ともいえる時間のとらえ方を再確認して、子どもの時間把握について考察しました。出題の要点は、2つあります。まず、講義で対比させて示した時間意識の特性を理解することです。そして、子どもの生活に時計があることの意味を、自身の生活に結びつけて理解することです。理解したことを板書写しに加えてノートに書き表しましょう。 9月 講義のテーマは「社会の高齢化と教育」でした。内容は、1.わが国の高齢化の進展、2.日本において急激に高齢化が進展した理由、3.高齢化進展の中で「高齢者の増加」をめぐる、楽観論と悲観論についての解説、4.高齢化の進展の中での「異世代理解教育」必要性について論じました。講義では、教育は子どもが学校中に留まり同年齢の集団との交わりの中だけで行われる営みに終始するものではなく、異なる人々たちの交わりやそれらの人々への理解を通じて、子ども自身が人間として生きることを学び取っていくのだということを論じました。	12月 「夢(夢のはなし)」をテーマに講義を行ないました。ノーベル化学賞を受賞した白川英樹さんの「夢」を講義の題材として、人間が生かすためにもつ希望となりうる「夢」を、記号的意味、情動の意味、存在的意味の3つの観点で心理学的に解説しました。3つの観点が必要となる基本知識を理解すること、また次元の異なる夢の意味の違いを記述していく中で、夢をもつことの意味を考察しまとめていきました。 1月 「生活科」は1992年度から全国の小学校低学年で学習しています。今回講義を受けた受験生も、子どものときに学んでいます。生活科ができる前は、理科や社会科を行っていました。そこで、生活科と理科・社会科との違いを明らかにし、生活科が自分とのかかわりを重視していることに着目させました。また、生活科は体験的な活動を十分に行うと、子どもが自分なりの言い方で表現できるようになることを子どもの作品を例に具体的に説明しました。 ※児童学科は10月のAO講義型は実施しませんでした。
児童学科	8月 講義題目「福祉文化論」。社会生活に困難を抱える人々のありのままの姿を見つめ、心に接して支援するという態度の糸口を共に感じ合うことを講義の主題としました。そうしたことが日常的になされることを求められています。そのためには、「福祉」が文化としてこの社会に定着しなければなりません。そうした福祉文化の例示としての福祉に関する映画を数本用いて題材にしました。まず人間が自分だと思っている存在が実は、多くの周りの人々、社会、文化等によって作られていることを理解します。そのうえで、困難の中にあっても本当の自分探しをしてきた実在の人々が自分そのものを創造的に潜在的な力を発揮しながら見いだしていく姿を追うとともに、その傍らでそれを支援していった人々に視点を当てて考えを広げました。 9月 講義のテーマは「近代社会福祉の夜明け」。イギリスの産業革命を契機とする社会問題の激増と「慈善組織協会」の取り組みおよび、ブースらの社会調査が、「ケースワーク」「グループワーク」「コミュニティワーク」「ソーシャルリサーチ」などの社会福祉援助技術の源流になったことを概説しました。講義には、「19世紀の新聞」「LS ローリーの絵画」「トインビーホール」などの歴史写真や資料を活用しました。	10月 テーマは「超高齢社会の課題」。人口高齢化の推移と高齢者の現状について簡単に述べたうえで、現在の超高齢社会で私たちが直面している課題について考えました。課題はたくさんありますが、ここで取りあげたのは、介護を必要とする高齢者の増加、健康な高齢者の増加、孤立しがちな高齢者の増加の3つ。それぞれについてどのような対応策が考えられるかを話しました。 12月 講義テーマは「学習とは何か」。まず、心理学における「学習」に関する研究がどのような経緯を経たのかを概観しました。次に、「行動主義」、「認知主義」、「状況主義」という、学習における3つの代表的な立場が、それぞれどのような視点を持ち、どのような実験を行うことで、自分達の主張の正当性を主張したのかについて述べました。例えば、行動主義では、パブロフの犬を使った実験の手続きと、その結果明らかになったことについて解説しました。 1月 講義のテーマは、「少子化が東京圏の自治体の施策に与える影響」。少子化が社会に与える影響について、福祉サービス、子育てネットワーク形成、子育ての意味の変質といった3つの要素についてさまざまなデータを参考にしながらその変化を検証しました。一見難しそうですが、今までこの分野にあまり触れていない受験生でも高校までに見聞きしたことをつなぎ合わせるとイメージできる講義内容となりました。
	8月 講義題目「福祉文化論」。社会生活に困難を抱える人々のありのままの姿を見つめ、心に接して支援するという態度の糸口を共に感じ合うことを講義の主題としました。そうしたことが日常的になされることを求められています。そのためには、「福祉」が文化としてこの社会に定着しなければなりません。そうした福祉文化の例示としての福祉に関する映画を数本用いて題材にしました。まず人間が自分だと思っている存在が実は、多くの周りの人々、社会、文化等によって作られていることを理解します。そのうえで、困難の中にあっても本当の自分探しをしてきた実在の人々が自分そのものを創造的に潜在的な力を発揮しながら見いだしていく姿を追うとともに、その傍らでそれを支援していった人々に視点を当てて考えを広げました。 9月 講義のテーマは「近代社会福祉の夜明け」。イギリスの産業革命を契機とする社会問題の激増と「慈善組織協会」の取り組みおよび、ブースらの社会調査が、「ケースワーク」「グループワーク」「コミュニティワーク」「ソーシャルリサーチ」などの社会福祉援助技術の源流になったことを概説しました。講義には、「19世紀の新聞」「LS ローリーの絵画」「トインビーホール」などの歴史写真や資料を活用しました。	10月 テーマは「超高齢社会の課題」。人口高齢化の推移と高齢者の現状について簡単に述べたうえで、現在の超高齢社会で私たちが直面している課題について考えました。課題はたくさんありますが、ここで取りあげたのは、介護を必要とする高齢者の増加、健康な高齢者の増加、孤立しがちな高齢者の増加の3つ。それぞれについてどのような対応策が考えられるかを話しました。 12月 講義テーマは「学習とは何か」。まず、心理学における「学習」に関する研究がどのような経緯を経たのかを概観しました。次に、「行動主義」、「認知主義」、「状況主義」という、学習における3つの代表的な立場が、それぞれどのような視点を持ち、どのような実験を行うことで、自分達の主張の正当性を主張したのかについて述べました。例えば、行動主義では、パブロフの犬を使った実験の手続きと、その結果明らかになったことについて解説しました。 1月 講義のテーマは、「少子化が東京圏の自治体の施策に与える影響」。少子化が社会に与える影響について、福祉サービス、子育てネットワーク形成、子育ての意味の変質といった3つの要素についてさまざまなデータを参考にしながらその変化を検証しました。一見難しそうですが、今までこの分野にあまり触れていない受験生でも高校までに見聞きしたことをつなぎ合わせるとイメージできる講義内容となりました。
人間福祉学科	8月 講義題目「福祉文化論」。社会生活に困難を抱える人々のありのままの姿を見つめ、心に接して支援するという態度の糸口を共に感じ合うことを講義の主題としました。そうしたことが日常的になされることを求められています。そのためには、「福祉」が文化としてこの社会に定着しなければなりません。そうした福祉文化の例示としての福祉に関する映画を数本用いて題材にしました。まず人間が自分だと思っている存在が実は、多くの周りの人々、社会、文化等によって作られていることを理解します。そのうえで、困難の中にあっても本当の自分探しをしてきた実在の人々が自分そのものを創造的に潜在的な力を発揮しながら見いだしていく姿を追うとともに、その傍らでそれを支援していった人々に視点を当てて考えを広げました。 9月 講義のテーマは「近代社会福祉の夜明け」。イギリスの産業革命を契機とする社会問題の激増と「慈善組織協会」の取り組みおよび、ブースらの社会調査が、「ケースワーク」「グループワーク」「コミュニティワーク」「ソーシャルリサーチ」などの社会福祉援助技術の源流になったことを概説しました。講義には、「19世紀の新聞」「LS ローリーの絵画」「トインビーホール」などの歴史写真や資料を活用しました。	10月 テーマは「超高齢社会の課題」。人口高齢化の推移と高齢者の現状について簡単に述べたうえで、現在の超高齢社会で私たちが直面している課題について考えました。課題はたくさんありますが、ここで取りあげたのは、介護を必要とする高齢者の増加、健康な高齢者の増加、孤立しがちな高齢者の増加の3つ。それぞれについてどのような対応策が考えられるかを話しました。 12月 講義テーマは「学習とは何か」。まず、心理学における「学習」に関する研究がどのような経緯を経たのかを概観しました。次に、「行動主義」、「認知主義」、「状況主義」という、学習における3つの代表的な立場が、それぞれどのような視点を持ち、どのような実験を行うことで、自分達の主張の正当性を主張したのかについて述べました。例えば、行動主義では、パブロフの犬を使った実験の手続きと、その結果明らかになったことについて解説しました。 1月 講義のテーマは、「少子化が東京圏の自治体の施策に与える影響」。少子化が社会に与える影響について、福祉サービス、子育てネットワーク形成、子育ての意味の変質といった3つの要素についてさまざまなデータを参考にしながらその変化を検証しました。一見難しそうですが、今までこの分野にあまり触れていない受験生でも高校までに見聞きしたことをつなぎ合わせるとイメージできる講義内容となりました。

高校までの成績、活動と志望理由、将来の目標に基づく

推薦入試

Point. 1 公募推薦の小論文では自己の意見を的確に表現する力を審査します。

Point. 2 志望理由書による面接では、大学進学のための目的や将来の目標を確認します。

Point. 3 2008年度より「キリスト教関係者推薦」を行っています。

選考のポイント

本学の推薦入試は「指定校推薦」及び「キリスト教関係者推薦」と「公募推薦」を行います。「指定校推薦」及び「キリスト教関係者推薦」では小論文審査は行わず、書類審査と面接を行います。面接において志望の動機や入学後の目標などを確認することに力を入れます。本学面接担当教員は、志望理由書を事前にチェックし面接時に必ず志望理由や将来目標を質問しますので、志望理由書には将来目標がわかりやすく記載されていることが大切となります。また、高等学校における活動の記録として、クラブ活動や委員会活動などがありましたら記入してください。推薦入試は高校でどのように充実した学校生活を送ったかが選考の重要なポイントになります。

オープンキャンパスに参加して、聖学院大学の教育の内容を理解するとともに、志望する学科の教員と個別に話ができる「個別相談」を活用するとアドバイスを受けることができます。積極的に参加されることをお勧めします。

「公募推薦」の小論文につきましては、提示された文章を読んで、それについて論文を書く形式や、テーマが与えられて、それについて自分の意見を述べる形式になります。書かれた内容を中心に審査しますが、小論文としての様式を整えておくことも必要になります。日ごろから文章に親しみ、文章を書く練習をし

ておくことをお勧めします。広く社会に関心を持っているかを問われますので新聞やテレビニュースなどで視野を広げておくことも大切なポイントです。

論文作成にあたっては、時間配分を考慮に入れた練習をしていると試験当日は安心できると思われます。論文内容については、受験生の意見がしっかりと述べられているかを評価の基準とします(過去問題集「推薦入試対策 小論文のポイント」を参考にしてください)。

本学ではオープンキャンパスとは別にサマースクールを実施しています。一日、大学生になって講義を体験するもので、小論文の書き方講座など実習を交えて開かれます。小論文に自信のない、あるいはエントリーカード・志望理由書の書き方がわからない受験生はご活用ください。

面接では、志望理由書を元に志望の動機や将来の目標について確認しますが、緊張して質問と違う答えが返ってくる場合があります。出願時に提出する志望理由書は、自分自身で考えた内容をしっかりと書くことが大切です。また、本学ではアドミッション・ポリシー(P.7)を提示していますので、それをよく読み、理解していることが重要です。

2012年度推薦入試概要

募集定員

■政治経済学部

・政治経済学科 30名
・コミュニティ政策学科 30名

■人文学部

・欧米文化学科 30名
・日本文化学科 30名

■人間福祉学部

・児童学科 30名
・人間福祉学科 30名

入試日程等

入試区分	公募推薦	キリスト教関係者推薦	キリスト教関係者推薦
対象学部・学科	全学部・全学科	全学部・全学科	政治経済学科、コミュニティ政策学科、 欧米文化学科、日本文化学科、人間福祉学科のみ
受験資格	2012年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込の者		
推薦基準	全体の評定平均値が3.0以上で、かつ全教科のうちいずれか1教科の評定平均値が3.5以上	①所属する教会の牧師と役員会が推薦するキリスト教であること。 ②キリスト教学校の場合は聖書科教師あるいはチャプレンの推薦があること。 ③入学後、大学のキリスト教関連クラブで活動する意志のあること。 ④大学の学習に耐え得る十分な基礎学力があること。	①キリスト教に関心があること。 ②教会に連なっているキリスト教関係者の推薦があること。 ③入学後、大学のキリスト教関連クラブで活動する意志のあること。 ④全体の評定平均値が3.0以上で、かつ全教科のうちいずれか1教科の評定平均値が3.5以上であること。
出願期間	郵送 2011年10月1日(土)～11月9日(水) [必着] 窓口受付 11月9日(水) 9:00～12:00	郵送 2011年10月1日(土)～11月9日(水) [必着]	郵送 2011年10月1日(土)～11月9日(水) [必着]
審査日	2011年11月12日(土)	2011年11月12日(土)	2011年11月12日(土)
合格発表日	2011年11月15日(火)	2011年11月15日(火)	2011年11月15日(火)
手続期間	2011年11月15日(火)～11月21日(月)	2011年11月15日(火)～11月21日(月)	2011年11月15日(火)～11月21日(月)
審査方法	①書類審査(調査書・学校長の推薦書(指定用紙)・志望理由書=800字) ②小論文(60分・800字) ③面接	①書類審査(調査書・課題・志望理由書=800字) ②課題に基づく面接	①書類審査(調査書・課題・志望理由書=800字) ②課題に基づく面接

●「指定校推薦」については、指定校に別途ご案内しています。詳細は、アドミッションセンターへお問い合わせください。

2011年度公募推薦入試 出題のねらいとアドバイス

	出題のねらい	アドバイス
政治経済学科	本年度は、「地球と暮らす」という新聞の連載記事のうち、西アフリカで植林活動を支援している市民団体の活動の紹介記事を論理的に再構成することを出題のねらいとしました。小論文の問題は、「環境を守る具体的な意義」をまとめるということで、見出しの「植林が飢餓を減らす」が一つの答えになっていました。すなわち、植林が「環境を守る」行為で、飢餓の減少が「具体的な意義」という関係です。このことが理解できれば、環境やそれを守る意義を学んでいなくても、記事をもとに論理的に小論文が作成できます。	最も重要なことは、設問を十分に理解することです。設問にきちんと答えているかどうか小論文の最大の評価点です。設問のキーワードをしっかりと頭に入れてから文章を読むと、効率的に内容を理解し、小論文を書くことができます。その際、記事の見出しが役に立つことがありますので、設問と読み比べてみましょう。また、日ごろから新聞を読み、世の中の動きを知ることにより、情報量、知識量を増やすことが大切です。新聞記事は小論文の題材として使われることが多いので、記事の文章に慣れておくことにもなります。
コミュニティ政策学科		
欧米文化学科		
日本文化学科		
人間福祉学科		
児童学科	『子育て』あるいは『教育』に対する基本的な考え方は、子どもたちへのかかわり方に現れます。その基本的な考え方が違えば、子どもたちへのかかわり方も当然異なります。問題文の、同年代の子どもを育てている二人の母親の対話から、子どもへのかかわり方が大きく異なっているのがわかるでしょう。ドイツと日本の母親の違いの基に、『自由と責任』という『教育』にとって重要な事柄についての考え方に大きな違いがある、ということに気づき、子どもや教育についてより深く考えていただきたい、という意図をもって出題しました。	小論文では、何が問われているのかを明確にしてから問題文を読み始めることが大切です。問題のキーワードはなにか、ということをつかむ、ということです。今年度の問題では、「ドイツの母親が述べていること」と、「自由」、「責任」が、キーワードあるいはキーセンテンスです。これらのキーについて問題文ではどのように記述されているかを整理し、それらの関係を図に表したりしていくと、あなたが主張したいことが明確になって来るでしょう。明確になったあなたの主張をわかりやすい文章にするとよいでしょう。

推薦入試 2011年度入試結果（公募推薦・審査日 2010年11月13日）

※公募・指定校・クリスチャン推薦・キリスト教関係者推薦すべて含む

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (女子)	倍率 受験者／合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	30	27	27	27	4	1.0	27	4
	コミュニティ政策	30	21	21	21	3	1.0	21	3
人文	欧米文化	30	29	29	28	16	1.0	28	16
	日本文化	30	35	35	35	17	1.0	33	16
人間福祉	児童	30	31	31	31	22	1.1	31	22
	人間福祉	30	19	19	19	12	1.0	19	12
合計		180	162	162	161	74	1.0	159	73

自分自身の特技や活動を将来にどのようにつなげるかを審査します

自己推薦・スポーツ推薦入試

部活動、生徒会・委員会活動など学校生活の中での経験や、地域の諸活動（祭り、子ども会、ボランティアなど）に参加した経験がある人、自分の考えや意見を人前で話すことができる人、個性的な考えを持っている人、そして何より将来の目標に向かって努力する強い意思を持っている人が評価されます。

Point. 1 あなたの個性豊かな「表現力」を発揮できる入試です。

Point. 2 表現する内容は「自分の考え」「志望理由」「将来の希望」です。

Point. 3 出願には、成績基準を求めません。既卒者の出願もできます。

選考のポイント

自己推薦入試・スポーツ推薦入試は、特技や活動のアピールを通して示された受験生の可能性を見い出すことを目的に作られたユニークな入試です。

本学の公募推薦も指定校推薦も学校長の推薦を得た高校生を対象にしているため、既卒の方や高校卒業認定試験の方などは受験できませんが、自己推薦入試は既卒の方、高校卒業認定試験の方や社会人の方などにも受験の機会を広げた入試です。他大学との併願も可能です。自己推薦として「志望理由書」を提出していただきます。

選考においては、志望理由書とそれに基づく面接で、将来の目標や意欲を審査します。自己PR作文が課されますので、文章を読むこと、書くことに親しんでおくことが大切です。本学ではオープンキャンパスやサマースクールで小論文の書き方を指導していますので、ぜひ活用してください。

今、現在何かが良くてできる、あるいは実績があるということも大切ですが、むしろそのことを将来の目標達成のためにどのように活かすか、またこれからどのような努力を行ってその能力を伸ばしていくかを審査していきます。なお、今年度の自己推薦入試は1月に実施します。

スポーツ推薦入試は学校長の推薦が必要な公募推薦や指定校推薦とは異なり、クラブの顧問や監督、担任等が記入したスポーツ推薦書（指定用紙）を提出します。また、一定のスポーツの実績が必要となりますので、よくスポーツ推薦入試要項をお読みください。3期（9、12、1月）に分けて審査を行います。自己推薦入試と同様に他の大学との併願が可能です。

2012年度自己推薦入試概要

募集定員（スポーツ推薦含）

■政治経済学部		■人文学部		■人間福祉学部	
・政治経済学科	5名	・欧米文化学科	5名	・児童学科	募集なし
・コミュニティ政策学科	5名	・日本文化学科	5名	・人間福祉学科	5名

入試日程等

入試区分	自己推薦
対象学部・学科	政治経済学科、コミュニティ政策学科、欧米文化学科、日本文化学科、人間福祉学科のみ
出願資格	既卒・大学検定試験・高校卒業認定試験・社会人・年齢問わずどなたでも受験可能。
出願基準	①大学における学習・研究や将来の生き方に課題を持ち、強い意欲と各学科に適した資質を有する者。 ②芸術文化・スポーツ・ボランティア活動等に明確な課題を持ち、強い意欲を有する者。 ③実社会や海外生活などの経験を、学習・研究等に生かすなど課題を持ち、強い意欲を有する者。
出願期間	郵送 2011年12月1日(木)～2012年1月11日(水) [必着] 窓口受付 2012年1月11日(水) 9:00～12:00 インターネット出願 1月11日(水) 12時(正午)迄
審査日	2012年1月14日(土)
合格発表日	2012年1月17日(火)
手続期間	2012年1月17日(火)～1月23日(月)
審査方法	①書類審査(調査書・志望理由書=800字) ②小論文(60分・600～800字) ③面接

※併願可能。詳しくはお問い合わせください。

2011年度自己推薦入試 出題のねらいとアドバイス

	出題のねらい	アドバイス
政治経済学科	大学生に求められるのは、模範的な解答を暗記して答案を作成することでもなく、また安易に解答を教師に求めることでもありません。まず自分で考える習慣、自ら学ぼうという学習姿勢です。そうした学習態度を評価するものとして「モンスター・ベアレンツ」を題材として出題しました。社会的にも大きく話題となり、新聞、テレビ、雑誌等のマスメディアにも頻繁に取り上げられた事柄であるので、出題文を待つまでもなく、普段から社会的な出来事に通常の関心があれば容易に解答できるでしょう。	この問題に限らず、叙述式の解答を求める問題では、出題文はもとより問題文に注意を払うべきです。解答のテクニックとして、「加藤紘一議員の指摘を参考にして」という部分がポイントです。「モンスター・ベアレンツ」がおかしいというのは社会常識としてありますが、問題はその理由です。つまり、加藤氏の指摘に対してどう思うのか、適確と思うのかそれと外的外れと思うのか、それともまたべつの理由が指摘できるのかを問うているのです。加藤氏の指摘を無視して、無関係な指摘をしてもそれは出題意図とは重ならず高い評価は得られません。
コミュニティ政策学科		
欧米文化学科		
日本文化学科		
人間福祉学科	幼児が親子でおもちゃや絵本を使って遊ぶ場面のVTRをみて、親が子どもと遊ぶときの配慮について記述してもらいました。子どもが興味のあるおもちゃを用意すること、子どもがしようとしている活動を見守る姿勢をもつこと、明確な言葉で語りかけること、できたことを一緒に喜ぶなど、子どもと関わっていくときに必要な大人の行動について考えることができるかが問われました。	VTRに出てくる親子の行動の記述のみに終わるのではなく、子どもが育っていくために大人がすべき配慮について考察できたかどうか課題になりました。子どもの行動や発達の様子を理解するとともに子どものためにどのような環境を提供できるか、また直接的な援助として何ができるかを探っていく視点をもつことが、保育者や教師には必要ですので、その視点を常にもって現象を捉えるようにしてみてください。 ※2012年度は児童学科では自己推薦入試を実施しません。
児童学科		

自己推薦入試 2011年度入試結果（審査日 2011年1月10日）

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
政治経済	政治経済	5	0	0	0	0
	コミュニティ政策	5	4	4	4	2
人文	欧米文化	5	1	1	1	1
	日本文化	5	1	1	1	1
人間福祉	児童	5	4	4	3	3
	人間福祉	5	1	1	1	1
合計		30	11	11	10	8

* 募集定員は、スポーツ推薦入試を含みます

2012年度スポーツ推薦入試概要

本学の入学を強く希望し、高校生活で鍛えられた心身両面で優れた能力を持った人を教員などの証明により自己表現できる人材として優先的に入学を許可するものです。

入試日程等

入試区分	スポーツ推薦
対象学部・学科	政治経済学科、コミュニティ政策学科、 欧米文化学科、日本文化学科、人間福祉学科のみ
受験資格	2012年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込の者
推薦基準	①スポーツ推薦書のある者(推薦書記入者：顧問、監督、クラス担任、その他) ②証明条件 A・Bいずれかの該当で出願可 A ●個人競技では高校時に都道府県大会において8位以上の者。 ●団体競技では高校時に都道府県大会においてベスト16以上の者。 B ●高校3年間部活動を継続し礼儀正しく、人間性が評価できる者。スポーツ関連クラブも含む。
審査方法	①書類審査(スポーツ推薦書(指定用紙)・志望理由書=600字程度・他※) ②小論文(60分・600字) ③面接

※【任意提出書類】活動実績が高校外部での場合には、クラブチーム等の課外活動実績報告書(A4書式自由)

■期間別日程

期間	出願期間	審査日	合格発表	手続期間
I期	郵送 2011年 8月 1日(月)～ 9月21日(水)[必着] 窓口受付 9月21日(水)9:00～12:00	2011年 9月24日(土)	2011年 9月27日(火)	2011年10月17日(月)～10月21日(金)
II期	郵送 2011年11月 7日(月)～12月14日(水)[必着] 窓口受付 12月14日(水)9:00～12:00	2011年12月17日(土)	2011年12月18日(日)	2011年12月19日(月)～12月27日(火)
III期	郵送 2011年12月14日(水)～1月18日(水)[必着] 窓口受付 1月18日(水)9:00～12:00	2012年 1月21日(土)	2012年 1月24日(火)	2012年 1月24日(火)～ 1月30日(月)

スポーツ推薦入試 2011年度入試結果(審査日 ①2010年8月21日②9月25日③12月18日)

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
政治経済	政治経済	5	1	1	1	1
	コミュニティ政策	5	1	1	1	1
人文	欧米文化	5	0	0	0	0
	日本文化	5	0	0	0	0
人間福祉	人間福祉	5	4	4	4	3
合計		25	6	6	6	5

* 募集定員は、自己推薦入試を含みます

* 児童学科は募集なし

TOPICS

第90回関東インカレ(2011年5月14日・15日・21日・22日、国立競技場)にて、聖学院大学は好成績を収めました。

加藤翔(人間福祉学科2年) 男子走幅跳3位(7m08)
 大山文太(コミュニティ政策学科1年) 男子2部棒高跳4位(4m40)
 武井陽香(人間福祉学科3年) 女子やり投5位(47m31)
 男子二部校フィールド部門10位
 女子一部校フィールド部門12位
 男子二部校総合24位
 女子一部校総合21位

大学で必要となる基礎学力を筆記試験により判断する

一般入試

Point. 1 適切な出題で基礎学力を審査します。

Point. 2 一回の入試で2学科に出願できる2学科出願制度があります。

選考のポイント

聖学院大学では、難問や奇問をなくし、基礎的な学力があれば点数が取れる「良問化」に常に努めています。毎年、外部の専門機関による入試問題の評価を実施し、適正な範囲から出題されているか、難易度は受験生に合っているかなどの観点から厳しいチェックを受けています。その結果は学内にフィードバックし、次年度の問題作成に活かしています。

このデータブックで問題を公開し、学科ごとに実質倍率、合格最高点・最低点、平均点、各問ごとの正答率を公表しています。また、学内の入試問題作成委員会が「傾向と対策」を執筆しています。

このように、本学では情報の公開を積極的に進めていますので、データブックや入試要項をしっかりとチェックしておくことが、高得点のカギとなります。昨年度からより詳細で、見やすいデータブックに変わりました。また、最新の情報は大学ホームページ(<http://www.seigakuin.jp>)でも公開しています。入試の変更点などの情報が出ることがありますので合わせてチェックしてみることをお勧めします。

出題範囲は文部科学省の課程に準拠します。範囲を超えた問題は出題しない方針です。各科目とも入試要項に指定された範囲を確認し、基礎をしっかりと押さえてください。

本学の一般入試はA日程、B日程、C日程、D日程の4期にわけて行います。科目数については2科目入試と3科目入試の二種類があります。3科目入試は点数の高い2科目で判定します。

一般入試D日程は、小論文と面接による審査を行います。どうしても年度中に大学に入学したい受験生のための最後のチャンスとして3月後半に実施します。なおD日程では東日本大震災に際し受験機会を奪われた方のための特別入試を3回実施しました。緊急経済支援措置を設け、被災を受けられた方は被災の状況により、最大で入学金の免除と一年間の授業料の全額免除が受けられるようにしました。この支援措置は2012年度入試においても適用します(P.58参照)。

2012年度一般入試概要

募集定員

	政治経済学部		人文学部		人間福祉学部	
入試区分	政治経済	コミュニティ政策	欧米文化	日本文化	児童	人間福祉
A日程	30	30	30	30	30	30
B日程						
C日程						
D日程						

入試日程

入試区分	試験日	合格発表日	手続期間
A日程	2012年2月 4日(土)	2012年2月 8日(水)	2012年2月 8日(水)～2月20日(月)
B日程	2012年2月14日(火)	2012年2月16日(木)	2012年2月16日(木)～2月28日(火)
C日程	2012年3月 3日(土)	2012年3月 6日(火)	2012年3月 6日(火)～3月12日(月)
D日程	2012年3月13日(火)	2012年3月15日(木)	2012年3月15日(木)～3月22日(木)

D日程特別入試(東日本大震災対応) 【募集学科】 政治経済学部/政治経済学科・コミュニティ政策学科 人文学部/欧米文化学科・日本文化学科 人間福祉学部/人間福祉学科 各学科とも若干名 【審査方法】 レポートと出願書類(調査書等)による審査 【検定料】 無料 【出願方法】 本学HPのインターネット出願サイトより出願 【審査日】 第1回:3月28日 第2回:4月4日 第3回:4月13日	
---	--

出願期間

通常受付

入試区分	出願期間 郵送[必着]	窓口受付
A日程	郵送は下記期限内、インターネットの場合は1月31日(火)迄 2012年1月2日(月)～2月1日(水)郵送[必着]	2012年2月1日(水) 窓口受付 9:00～12:00
B日程	郵送は下記期限内、インターネットの場合は2月8日(水)迄 2012年1月2日(月)～2月9日(木)郵送[必着]	2012年2月9日(木) 窓口受付 9:00～12:00
C日程	郵送は下記期限内、インターネットの場合は2月28日(火)迄 2012年2月2日(木)～2月29日(水)郵送[必着]	2012年2月29日(水) 窓口受付 9:00～12:00
D日程	郵送は下記期限内、インターネットの場合は3月8日(木)迄 2012年2月18日(土)～3月9日(金)郵送[必着]	2012年3月9日(金) 窓口受付 9:00～12:00

当日受付

入試区分	当日インターネット受付	当日窓口受付
A日程	2012年2月1日(水)～2月3日(金)	2月4日(土)8:00～8:50 ※当日受付扱いは、大学会場(3科目2学科受験のみ)に限りです。
B日程	2012年2月9日(木)～2月13日(月)	2月14日(火)8:00～8:50 ※当日受付扱いは、大学会場(3科目2学科受験のみ)に限りです。
C日程	2012年2月29日(水)～3月2日(金)	3月3日(土)8:00～8:50 ※当日受付扱いは、大学会場(2学科受験のみ)に限りです。
D日程	2012年3月9日(金)～3月12日(月) 12時(正午)迄	※当日扱いの窓口受付はありません。

試験科目

入試区分	試験科目	試験時間	試験会場
一般入試 A日程	「2科目入試」または「3科目入試」を選択できます。 英語Ⅰ・Ⅱ＋選択科目 (選択科目:国語総合(古文は選択問題・漢文を除く)、 世界史B、日本史B、政治・経済、数学Ⅰ・数学A) ※2科目受験は英語を含む2科目受験 ※3科目受験の評価は上位2科目の合計点	各60分 100点 国語総合 9:30～10:30 英語Ⅰ・Ⅱ 11:00～12:00 国語以外の選択科目 13:00～14:00	本学、仙台、宇都宮、新潟、 高崎、新宿(東京)、 横浜、柏、立川(東京)
一般入試 B日程	「2科目入試」または「3科目入試」を選択できます。 英語Ⅰ・Ⅱ＋選択科目 (選択科目:国語総合(古文は選択問題・漢文を除く)、 世界史B、日本史B、政治・経済、数学Ⅰ・数学A) ※2科目受験は英語を含む2科目受験 ※3科目受験の評価は上位2科目の合計点	各60分 100点 国語総合 9:30～10:30 英語Ⅰ・Ⅱ 11:00～12:00 国語以外の選択科目 13:00～14:00	本学、 新宿(東京)
一般入試 C日程	国語総合(古文は選択問題、漢文を除く) 英語Ⅰ・Ⅱ	各60分 100点	本学、宇都宮、高崎、 新宿(東京)
一般入試 D日程	小論文 面接	60分	本学

2学科出願について

一般入試A～C日程は、1回の試験で2学科出願できます。

地方試験会場でも2学科出願ができます。

入学検定料は1学科でも2学科併願でも

同額出願料金(30,000円)。

※願書の当日受付扱いは、A・B日程は大学会場3科目2学科出願、
C日程は大学会場2学科出願に限ります。

「シーズン・パス方式」と 「センター試験出願者の受験料の減額」について

複数回受験できる「シーズン・パス方式」を採用しています。

※入学検定料30,000円で年度内のすべての入試を何回でも受験することが出来ます。
途中で受験学科を変更することも可能です。

大学入試センター出願者は本学の一般入試の入学検定料を20,000円に減額致します(こちらも複数回受験パスとなります)。

※センター利用入試ではありません。

秋学期入試について

＜小論文・面接型＞

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科のみ

出願期間 <郵送は下記期限内、インターネットの場合は6月29日(水)12時(正午)迄>
郵送 2011年6月1日(水)～6月29日(水) [必着]
窓口受付 6月29日(水)9:00～12:00

試験日 2011年7月2日(土)

審査方法 小論文、面接 ※再入学試験は基本的に面接のみ

合格発表日 2011年7月5日(火)

手続期間 2011年7月5日(火)～7月12日(火)

＜AO方式[レポート]型＞

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科のみ

エントリー受付 2011年4月1日(金)～7月29日(金)
①7月23日(土)までのオープンキャンパスを含む事前相談にて、
エントリー許可を受けていること。
②7月29日(金)までに、エントリー時に必要な提出書類を提出できること。

審査方法 面談方式＝レポート・資料・課題等の提出による面談

内定者書類提出(出願)期間 [必着]	合格発表日	手続期間
2011年8月24日(水)～8月26日(金)	8月28日(日)	8月29日(月)～9月2日(金)

入試科目別平均点 A日程

学部	学科	科目	英語	国語	政治・経済	世界史	日本史	数学
		満点	100	100	100	100	100	100
政治経済	政治経済	受験者数	46	45	6	5	15	1
		平均点	43.8	58.4	52.0	42.9	43.5	53.4
	コミュニティ政策	受験者数	38	37	6	4	16	2
		平均点	43.8	57.6	52.0	42.9	43.5	53.4
人文	欧米文化	受験者数	33	30	1	9	4	3
		平均点	47.3	57.4	52.0	42.9	43.5	53.4
	日本文化	受験者数	36	33	1	7	17	2
		平均点	43.7	58.4	52.0	42.9	43.5	53.4
人間福祉	児 童	受験者数	45	41	3	6	12	7
		平均点	45.4	57.7	52.0	42.9	43.5	53.4
	人間福祉	受験者数	43	40	3	5	12	9
		平均点	38.0	55.8	52.0	42.9	43.5	53.4

※政治・経済、世界史、日本史、数学Ⅰ・数学Aは、科目選択者が少ない学科があるため、全学科平均になっています。

B日程

学部	学科	科目	英語	国語	政治・経済	世界史	日本史	数学
		満点	100	100	100	100	100	100
政治経済	政治経済	受験者数	15	12	1	0	9	2
		平均点	40.0	51.9	56.5	—	46.8	56.0
	コミュニティ政策	受験者数	17	15	1	1	8	4
		平均点	42.8	50.2	56.5	42.3	46.8	56.0
人文	欧米文化	受験者数	18	14	1	3	9	2
		平均点	53.7	56.6	56.5	42.3	46.8	56.0
	日本文化	受験者数	20	18	0	2	10	2
		平均点	49.3	61.1	—	42.3	46.8	56.0
人間福祉	児 童	受験者数	30	29	3	2	10	6
		平均点	52.7	59.2	56.5	42.3	46.8	56.0
	人間福祉	受験者数	19	18	1	2	7	5
		平均点	47.3	56.8	56.5	42.3	46.8	56.0

※政治・経済、世界史、日本史、数学Ⅰ・数学Aは、科目選択者が少ない学科があるため、全学科平均になっています。

会場別受験者合格者数 ※志：志願者数 合：合格者

A日程

学部	学科	大学		東京		立川		横浜		仙台		宇都宮		新潟		高崎		柏	
		志	合	志	合	志	合	志	合	志	合	志	合	志	合	志	合	志	合
政治経済	政治経済	32	28	6	4	0	0	1	1	1	1	3	3	0	0	5	4	1	1
	コミュニティ政策	29	26	3	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5	5	1	1
	欧米文化	20	19	1	1	2	2	0	0	1	1	3	2	1	1	4	4	1	1
人文	日本文化	23	21	3	2	0	0	0	0	2	1	4	3	0	0	6	5	0	0
	児童	38	26	2	0	1	0	1	0	0	0	1	1	3	0	1	1	0	0
人間福祉	人間福祉	35	33	5	5	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1
合計		177	153	20	15	3	2	2	1	6	5	11	9	5	1	22	20	4	4

B日程

学部	学科	大学		東京	
		志	合	志	合
政治経済	政治経済	19	11	4	1
	コミュニティ政策	18	14	2	2
	欧米文化	19	16	3	2
人文	日本文化	21	16	3	3
	児童	35	21	2	2
人間福祉	人間福祉	23	18	1	1
合計		135	96	15	11

C日程

学部	学科	大学		東京		宇都宮		高崎	
		志	合	志	合	志	合	志	合
政治経済	政治経済	41	35	7	4	1	1	1	1
	コミュニティ政策	30	25	7	7	0	0	1	1
	欧米文化	25	25	7	4	1	1	2	1
人文	日本文化	31	24	3	3	2	1	1	1
	児童	17	7	8	3	1	0	1	0
人間福祉	人間福祉	21	19	7	5	2	2	1	1
合計		165	135	39	26	7	5	7	5

C日程

学部	学科	科目	英語	国語
		満点	100	100
政治経済	政治経済	受験者数	47	47
		平均点	51.4	61.1
	コミュニティ政策	受験者数	34	34
		平均点	47.6	58.6
人文	欧米文化	受験者数	31	31
		平均点	58.9	59.4
	日本文化	受験者数	36	36
		平均点	50.0	62.8
人間福祉	児 童	受験者数	22	22
		平均点	52.5	60.3
	人間福祉	受験者数	28	28
		平均点	45.8	61.1

学科別併願状況

	受験学科1	受験学科2	A日程	B日程	C日程
政治経済	政治経済	なし(単願)	8	5	0
	政治経済	コミュニティ政策	48	20	48
	政治経済	欧米文化	2	2	6
	政治経済	日本文化	6	2	4
	政治経済	児童	0	0	2
	政治経済	人間福祉	6	0	6
	コミュニティ政策	なし(単願)	4	0	1
	コミュニティ政策	政治経済	8	8	10
	コミュニティ政策	欧米文化	0	0	0
	コミュニティ政策	日本文化	0	2	4
	コミュニティ政策	児童	0	0	0
	コミュニティ政策	人間福祉	4	4	4
	欧米文化	なし(単願)	7	5	10
	欧米文化	政治経済	0	0	8
人文	欧米文化	コミュニティ政策	4	2	0
	欧米文化	日本文化	8	4	2
	欧米文化	児童	0	6	2
	欧米文化	人間福祉	0	0	2
	日本文化	なし(単願)	13	5	7
	日本文化	政治経済	2	4	14
	日本文化	コミュニティ政策	4	0	6
	日本文化	欧米文化	18	12	16
	日本文化	児童	6	6	6
	日本文化	人間福祉	4	2	6
	児童	なし(単願)	15	8	3
	児童	政治経済	4	0	0
	児童	コミュニティ政策	0	2	0
	児童	欧米文化	18	6	8
人間福祉	児童	日本文化	2	4	0
	児童	人間福祉	32	28	20
	人間福祉	なし(単願)	15	1	1
	人間福祉	政治経済	6	0	2
	人間福祉	コミュニティ政策	2	2	2
	人間福祉	欧米文化	2	2	6
	人間福祉	日本文化	0	2	2
	人間福祉	児童	2	6	10

都道府県別入試データ

2011年度の全国からの志願者数は1,133名、うち合格者が942名です。
主に関東圏からの志願者数が多く、全体の約74%をしめる827名が
埼玉(579名)・東京(248名)の1都1県からの志願者で占められています。

Total
942 / 1,133

合格者数 / 志願者数 (かっこ内は女子数)

※いずれも特別・編入学・秋学期含まず



現役 / 既卒別志願者数

学部	学科	総数	現役	既卒等
政治経済	政治経済	197	148	49
	コミュニティ政策	181	144	37
人文	欧米文化	170	144	26
	日本文化	176	160	16
人間福祉	児童	232	217	15
	人間福祉	177	150	27

※いずれも特別・編入学・秋学期含まず

高校別入試データ

都道府県名	高校名	志願	合格	入学
北海道	クラーク記念国際	7	6	6
	星槎国際	4	3	3
青森県	青森山田	1	0	0
岩手県	大東	2	1	1
	住田	1	1	1
宮城県	仙台南	2	2	0
	東北学院	1	1	1
	東北学院榴ヶ岡	2	2	1
	仙台白百合学園	1	1	1
	聖和学園	1	1	1
山形県	鶴岡中央	1	1	1
	山形城北	1	1	1
	山形学院	4	4	3
	基督教独立学園	2	1	1
福島県	橘	1	1	1
	須賀川	1	1	1
	好間	4	3	1
	郡山北工業	1	1	0
	光南	1	1	1
	福島成蹊	2	2	0
	尚志	2	2	2
	会津若松ザベリオ学園	1	1	1
	いわき秀英	1	1	1
	大智学園	5	5	3
茨城県	藤代	1	1	0
	下館第二	1	1	0
	下妻第一	1	1	1
	結城第一	1	1	1
	古河第一	1	1	0
	古河第二	3	3	3
	古河第三	2	2	1
	境	13	12	4
	土浦湖北	1	1	1
	藤代紫水	1	1	1
	三和	1	1	1
	水戸養護	1	0	0
	茨城キリスト教学園	1	0	0
	水戸短期大学附属	2	2	1
	鹿島学園	1	1	1
	つくば秀英	1	1	1
	翔洋学園	1	1	1
	つくば開成	3	3	2
	ウィザス	13	11	3
	東豊学園つくば松実	2	2	1
	つくば国際大学東風	3	3	1
栃木県	宇都宮	2	1	0
	宇都宮中央女子	1	1	0
	栃木女子	1	1	1
	壬生	1	1	1
	真岡女子	2	2	0
	茂木	2	2	1
	大田原女子	1	0	0
	那須拓陽	2	2	1
	上三川	1	1	1
	作新学院	5	3	2
	文星芸術大学附属	1	1	0
	宇都宮短期大学附属	2	2	2
	國學院大學栃木	2	0	0
	日々輝学園	2	2	2
群馬県	前橋商業	1	0	0
	桐生南	2	2	0

都道府県名	高校名	志願	合格	入学
群馬県	沼田	1	1	1
	館林	4	2	0
	館林女子	1	1	0
	長野原	1	1	1
	板倉	2	1	1
	西邑楽	2	1	1
	桐生西	1	1	1
	前橋西	2	2	1
	高崎東	2	2	0
	高崎経済大学附属	1	1	0
	伊勢崎(県立)	4	4	1
	安中総合学園	2	2	2
	共愛学園	7	4	4
	桐生第一	2	2	0
	常磐	2	2	0
埼玉県	新島学園	4	4	3
	樹徳	2	2	1
	高崎健康福祉大学高崎	4	2	2
	明和県央	1	0	0
	学芸館	1	1	1
	筑波大学附属坂戸	1	1	1
	浦和(県立)	1	0	0
	熊谷	1	1	1
	熊谷女子	3	3	1
	春日部女子	2	1	0
	松山女子	1	1	0
	深谷第一	4	4	3
	鴻巣女子	1	1	1
	本庄	6	6	1
東京都	児玉	1	1	0
	越ヶ谷	2	2	1
	久喜	5	4	4
	小川	5	3	2
	秩父	3	3	1
	大宮	2	2	0
	蕨	2	2	0
	草加	6	6	3
	朝霞	7	4	3
	戸田翔陽	3	3	3
	岩槻	7	4	4
	越谷北	3	3	0
	坂戸	8	8	4
	吉川	1	1	1
	深谷商業	5	4	4
	進修館	7	7	6
	大宮商業	1	1	1
	熊谷商業	5	4	3
	熊谷農業	2	2	2
	杉戸農業	2	2	2
	川越総合	2	2	2
	与野	4	4	2
	鴻巣	2	2	1
	上尾	13	9	3
	豊岡	2	2	2
	桶川	1	1	1
	新座	2	2	2
	福岡	1	1	1
	八潮	1	1	1
	志木	2	2	2
	越谷南	2	2	0
	川口北	1	1	1

都道府県名	高校名	志願	合格	入学
埼玉県	深谷	5	5	3
	北本	6	5	3
	秩父農工科学	1	1	1
	いずみ	6	5	5
	羽生実業	3	3	3
	大宮中央	15	14	9
	羽生	4	4	2
	大宮武蔵野	3	3	3
	富士見	2	2	2
	滑川総合	3	3	3
	羽生第一	13	12	6
	上尾南	9	9	9
	白岡	10	10	10
	杉戸	10	6	3
	川口総合	2	1	1
	川越(市立)	2	2	0
	川口(市立)	3	3	1
	大宮北	2	2	0
	大宮西	2	2	2
	県陽	5	5	3
	川口東	1	1	1
	浦和北	2	2	1
	入間	1	1	1
	朝霞西	2	2	1
	川越西	4	3	1
	越谷西	7	6	4
	坂戸西	3	3	2
	所沢西	1	1	0
	妻沼	1	1	1
	大宮東	5	4	3
	南稜	6	6	2
	桶川西	18	14	12
	所沢中央	1	1	0
	三郷北	1	1	1
	庄和	1	1	1
	大宮南	3	3	3
	宮代	1	1	1
	浦和東	3	3	3
	上尾橋	1	0	0
	川越初雁	1	1	1
	鳩山	2	1	1
	川口青陵	2	2	2
	伊奈学園総合	10	8	3
	狭山経済	1	1	1
	三郷工業技術	1	1	1
	大宮光陵	5	5	4
	久喜北陽	1	1	0
	鳩ヶ谷	2	2	2
	上尾鷹の台	7	6	5
	誠和福祉	5	4	4
	鶴ヶ島清風	3	2	1
	寄居城北	1	1	1
	狭山緑陽	1	1	1
	蓮田松韻	2	1	1
	栗橋北彩	2	2	2
	聖望学園	6	4	2
	小松原	1	1	1
	小松原女子	3	3	3
	細田学園	2	1	1
	淑徳与野	1	1	0
	本庄第一	4	4	2
	山村学園	2	2	0
	山村国際	1	1	1
	正智深谷	13	8	5
	大宮開成	5	3	1
	狭山ヶ丘	3	3	2
	本庄東	5	4	0
	武蔵越生	5	3	2
	武南	3	3	1
	東京成徳大学深谷	7	6	2
	浦和実業学園	18	15	4
	星野	3	3	1
	東邦音楽大学附属東邦第二	1	1	1
	大妻嵐山	2	2	1
	浦和ルーテル学院	1	1	1

都道府県名	高校名	志願	合格	入学
埼玉県	城西大学付属川越	6	3	1
	埼玉栄	8	8	4
	浦和学院	20	20	16
	昌平	5	3	1
	獨協埼玉	3	3	1
	春日部共栄	4	4	0
	西武台	8	7	2
	秀明英光	14	9	7
	花咲徳栄	37	32	11
	秋草学園	2	2	2
	開智	1	0	0
	埼玉平成	7	6	1
	自由の森学園	3	3	3
	東野	5	4	4
	国際学院	9	6	6
	栄北	8	6	5
	松栄学園	4	2	2
	霞ヶ関	1	1	1
	武蔵野星城	1	1	1
	大川学園	1	1	1
	上記以外の高等学校等	2	1	1
千葉県	銚子商業	1	1	1
	市川東	8	5	3
	柏(市立)	2	2	2
	野田中央	4	3	2
	流山北	1	1	1
	幕張総合	2	2	1
	和洋国府台女子	2	2	1
	二松学舎大学附属沼南	3	3	3
	西武台千葉	2	2	1
	東京学館船橋	1	1	1
	わせがく	2	2	1
	あずさ第一	2	2	2
東京都	足立	5	5	3
	足立工業	1	1	1
	足立西	1	1	1
	大山	1	1	1
	荻窪	1	1	1
	片倉	2	2	1
	江北	1	1	0
	狛江	1	1	0
	鷺宮	2	2	0
	桜町	2	2	2
	杉並	10	6	1
	墨田川	3	2	1
	高島	6	6	2
	豊島	2	2	1
	豊多摩	1	1	0
	光丘	3	2	0
	府中	1	1	1
	町田工業	1	1	1
	向丘	2	2	2
	雪谷	2	2	0
	篠崎	2	2	2
	足立新田	3	1	1
	武蔵野北	2	2	1
	小川	1	1	1
	飛鳥	4	4	2
	上水	2	2	0
	橘	1	1	1
	板橋有徳	5	4	3
	産業技術高専	2	2	2
	神田女学園	1	1	1
	錦城学園	2	2	1
	東洋	1	1	1
	二松学舎大学附属	2	2	2
	和洋九段女子	2	2	0
	中央学院大学中央	2	2	1
	広尾学園	3	2	0
	正則	2	2	0
	成城	2	2	0
	郁文館	3	1	1
	京華	1	1	1
	京北	4	3	1
	京北学園白山	3	2	1

都道府県名	高校名	志願	合格	入学
東京都	駒込	2	2	0
	昭和第一	2	2	2
	貞静学園	9	4	4
	獨協	1	1	1
	日本大学豊山	2	1	1
	村田女子	1	1	1
	岩倉	3	2	2
	順天	2	1	1
	女子聖学院	7	7	1
	駿台学園	3	2	1
	聖学院	17	15	10
	星美学園	1	1	0
	成立学園	2	2	0
	瀧野川女子学園	3	3	3
	東京成徳大学	9	7	2
	武蔵野	1	1	1
	北豊島	1	1	1
	安田学園	3	2	1
	足立学園	2	1	0
	共栄学園	1	1	1
	関東第一	2	1	1
	品川エトワール女子	1	1	1
	自由ヶ丘学園	2	2	2
	東京学園	5	4	3
	目黒学院	7	4	1
	日体荏原	1	0	0
	佼成学園女子	2	1	1
	国士館	2	2	0
	昭和女子大学附属昭和	1	1	1
	大東学園	2	2	2
	玉川聖学院高等部	4	3	2
	日本学園	2	2	2
	日本工業大学駒場	3	3	3
	大妻中野	3	1	0
	堀越	4	4	4
	川村	2	1	1
	城西大学附属城西	1	1	1
	淑徳巣鴨	1	1	1
	豊島学院	3	3	1
	豊南	1	1	1
	大東文化大学第一	6	3	3
	東京家政大学附属女子	2	1	1
	聖パウロ学園	1	1	1
	昭和第一学園	1	1	1
	明星	2	1	0
	啓明学園	6	5	2
	明治学院東村山	3	2	0
	日本放送協会学園	1	1	1
	法政大学	1	1	0
	明星学園	1	1	1
	武蔵野女子学院	1	1	1

都道府県名	高校名	志願	合格	入学
東京都	明治大学付属中野八王子	1	1	0
	立志舎	3	2	0
神奈川県	川崎(県立)	1	1	0
	大和	2	2	1
	氷取沢	2	2	1
	横浜	1	1	1
	三浦学苑	2	1	1
	横須賀学院	2	2	1
	北鎌倉女子学園	1	1	1
	湘南工科大学附属	1	1	1
新潟県	星槎	1	1	1
	長岡大手	2	0	0
	柏崎総合	1	1	1
	阿賀野	3	1	1
	新潟青陵	1	1	1
	中越	2	1	0
	敬和学園	2	2	2
	東京学館新潟	7	3	0
山梨県	駿台甲府	1	1	0
	日本航空	4	2	2
長野県	小諸	4	2	1
	大町	1	0	0
	さくら国際	3	3	2
静岡県	浜松湖南	3	1	0
	静岡サレジオ	2	2	1
	オイスカ	2	2	1
	国際開洋第一	1	1	0
愛知県	岡崎	2	2	1
	黄柳野	2	1	0
大阪府	向陽台	2	1	0
島根県	松江北	2	2	0
	倉敷中央	2	1	0
岡山県	玉野	1	0	0
	岡山理科大学附属	1	0	0
	岡山県高梁日新	1	1	1
	広島県	2	2	1
広島県	銀河学院	1	1	1
	並木学院	1	1	0
	山口県	2	1	1
山口県	山口県桜ヶ丘	2	1	1
愛媛県	日本ウェルネス	1	1	1
福岡県	福智	1	1	1
	長崎県	1	1	1
長崎県	猶興館	1	1	1
	活水	1	1	1
熊本県	第二	1	1	0
	沖縄県	1	1	1
沖縄県	読谷	1	0	0
	興南	1	0	0
高校卒業程度認定試験・大学入学資格検定		18	16	10
外国の学校等		3	3	3

インターネット出願について

聖学院大学では、「AO入試[講義型]」「自己推薦入試」「一般入試」「特別入試(帰国生・編入学)」でインターネットによるエントリー／出願を導入しました。メリットは①事前の願書入手が不要、②出願期間内であれば24時間出願可能であることです(ちなみに、検定料納入が便利なコンビニエンスストア等の振込は2011年度入試は131人が利用しました)。

インターネット出願件数(2011年度入試)

	政治経済	コミュニティ政策	欧米文化	日本文化	児童	人間福祉	計
AO講Ⅰ	0	0	0	0	0	0	0
AO講Ⅱ	0	0	0	0	0	0	0
AO講Ⅲ	0	0	0	0	0	0	0
AO講Ⅳ	0	0	0	0	0	0	0
AO講Ⅴ	0	0	0	0	0	0	0
自己推薦	0	1	0	0	0	0	1
一般A	1	1	4	3	4	2	15
一般B	3	5	5	6	8	8	35
一般C	15	9	4	5	9	6	48
一般D	3	13	9	4	4	6	39
その他*	0	0	0	0	0	0	0
計	22	29	22	18	25	22	138

*その他:英語特別・帰国生・編入学

特別入試

社会人入試

秋学期入試(2011年度)

<AO方式[レポート]型>

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科のみで実施

エントリー受付 2011年4月1日(金)～7月29日(金)
①7月23日(土)までのオープンキャンパスを含む事前相談にて、エントリー許可を受けていること。
②7月29日(金)までに、エントリー時に必要書類を提出できること。

審査方法 面談方式＝レポート・資料・課題等の提出による面談

願書提出(出願)期間・合格発表日・手続期間

願書提出(出願)期間 [必着]	合格発表日	手続期間
2011年8月24日(水)～8月26日(金)	8月28日(日)	8月29日(月)～9月2日(金)

春学期入試(2012年度)

<AO方式[レポート]型>

全学部全学科で募集

エントリー受付 2011年8月1日(月)～2012年2月1日(水) [1月28日の事前相談による]

審査方法 面談方式＝レポート・資料・課題等の提出による面談

面談[審査]日 面談Aの実施日時は、エントリー者に別途連絡します。ただし、面談を受けるには、面談実施予定日の3日前までにエントリーカードを提出(郵送必着)しなければなりません。面談Bの実施日は、面談Aで告知されます。いずれの場合も面談の開始時間は、エントリーカードや課題の到着後に連絡いたします。面談Aと面談Bの間にレポート等が課されます。面談は2回以上になります。

提出書類 エントリー時＝エントリーカード・卒業証明書
出願時＝入学願書・調査書・健康診断書

願書提出(出願)期間・合格発表日・手続期間

願書提出(出願)期間 [必着]	合格発表日	手続期間
2011年10月11日(火)～10月14日(金)	10月16日(日)	10月17日(月)～10月21日(金)
2011年11月14日(月)～11月18日(金)	11月20日(日)	11月21日(月)～11月25日(金)
2011年12月12日(月)～12月16日(金)	12月18日(日)	12月19日(月)～12月27日(火)
2012年 1月16日(月)～ 1月20日(金)	1月22日(日)	1月23日(月)～ 1月 27日(金)
2012年 2月27日(月)～ 3月 1日(木)	3月 4日(日)	3月 5日(月)～ 3月 9日(金)

※AO入試は各学科とも定員になり次第、終了となります。

2011年度 春学期入試(社会人入試)結果

学部	学科	エントリー	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	0	0	0	0	0	0
	コミュニティ政策	0	0	0	0	0	0
人文	欧米文化	0	0	0	0	0	0
	日本文化	0	0	0	0	0	0
人間福祉	児童	1	1	1	1	1	1
	人間福祉	1	1	0	0	0	0
合計		2	2	1	1	1	1

※募集定員は各学科若干名

2010年度 秋学期入試(社会人入試)のエントリー者はいませんでした。

※エントリー資格は各入試要項をご確認下さい。

帰国生入試

秋学期入試(2011年度)

<小論文・面接型>

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科のみで実施

出願期間 <郵送は下記期限内、インターネットの場合は6月29日(水)12時(正午)迄>
郵 送 2011年6月1日(水)～6月29日(水) [必着]
窓口受付 2011年6月29日(水)9:00～12:00

試験日 2011年7月2日(土)

審査方法 小論文、面接

合格発表 2011年7月5日(火)

手続期間 2011年7月5日(火)～7月12日(火)

<AO方式[レポート]型>

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科のみで実施

エントリー受付 2011年4月1日(金)～7月29日(金)
①7月23日(土)までのオープンキャンパスを含む事前相談にて、エントリー許可を受けていること。
②7月29日(金)までに、エントリー時に必要書類を提出できること。

審査方法 面談方式＝レポート・資料・課題等の提出による面談

願書提出(出願)期間・合格発表日・手続期間

願書提出(出願)期間 [必着]	合格発表日	手続期間
2011年8月24日(水)～8月26日(金)	8月28日(日)	8月29日(月)～9月2日(金)

春学期入試(2012年度)

<小論文・面接型>

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科のみで実施

出願期間 <郵送は下記期限内、インターネットの場合は1月11日(水)12時(正午)迄>
郵 送 2011年12月1日(木)～2012年1月11日(水) [必着]
窓口受付 2012年1月11日(水)9:00～12:00

試験日 2012年1月14日(土)

審査方法 小論文、面接

合格発表 2012年1月17日(火)

手続期間 2012年1月17日(火)～1月23日(月)

<AO方式[レポート]型> すべての学科で募集(内容は社会人入試と同様)

2011年度 春学期入試(帰国生入試)結果

学部	学科	志願者	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	0	0	0	0	0	0
	コミュニティ政策	0	0	0	0	0	0
人文	欧米文化	1	0	1	0	0	0
	日本文化	0	0	0	0	0	0
人間福祉	児童	—	—	—	—	—	—
	人間福祉	—	—	—	—	—	—
合計		1	0	1	0	0	0

※募集定員は各学科若干名。児童学科・人間福祉学科では実施せず。

2010年度は秋学期入試(帰国生入試)志願者／エントリー者はいませんでした。

留学生入試

秋学期入試(2011年度)

<AO方式[レポート]型>

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科のみで実施

- エントリー受付** 2011年4月1日(金)～7月29日(金)
①7月23日(土)までのオープンキャンパスを含む事前相談にて、エントリー許可を受けていること。
②7月29日(金)までに、エントリー時に必要書類を提出できること。
- 審査方法** 面談方式＝レポート・資料・課題等の提出による面談

願書提出(出願)期間・合格発表日・手続期間

願書提出(出願)期間 [必着]	合格発表日	手続期間
2011年8月24日(水)～8月26日(金)	8月28日(日)	8月29日(月)～9月2日(金)

春学期入試(2012年度)

<1日型>

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科、人間福祉学科のみで実施

- 出願期間** I期 2011年9月1日(木)～10月19日(水)郵送[必着]
10月19日(水)窓口受付9:00～12:00
II期 2011年11月1日(火)～11月22日(火)郵送[必着]
11月22日(火)窓口受付9:00～12:00
III期 2011年12月1日(木)～2012年1月11日(水)郵送[必着]
1月11日(水)窓口受付9:00～12:00
IV期 2012年2月18日(土)～3月9日(金)郵送[必着]
3月9日(金)窓口受付9:00～12:00
- 試験日** I期:2011年10月22日(土)
II期:2011年11月26日(土)
III期:2012年1月14日(土)
IV期:2012年3月13日(火)
- 審査方法** 日本語能力試験(作文および・漢字)60分
面接(日本語試験合格者のみ)

試験日・合格発表日・手続期間

試験日	合格発表日	手続期間
I期:2011年10月22日(土)	10月25日(火)	10月25日(火)～11月4日(金)
II期:2011年11月26日(土)	11月29日(火)	11月29日(火)～12月9日(金)
III期:2012年 1月14日(土)	1月17日(火)	1月17日(火)～ 1月23日(月)
IV期:2012年 3月13日(火)	3月15日(木)	3月15日(木)～ 3月22日(木)

※エントリー資格は各入試要項をご確認下さい。

春学期入試(2012年度)

<AO方式[レポート]型> 全学部・全学科で募集

- エントリー受付** 2011年8月1日(月)～2012年2月1日(水)[1月28日の事前相談による]
- 審査方法** 面談方式＝レポート・資料・課題等の提出による面談
- 面談[審査]日** 面談Aの実施日時は、エントリー者に別途連絡します。ただし、面談を受けるには、面談実施予定日の3日前までにエントリーカードを提出(郵送必着)しなければなりません。面談Bの実施日は、面談Aで告知されます。いずれの場合も面談の開始時間は、エントリーカードや課題の到着後に連絡いたします。
※面談Aと面談Bの間にレポート等が課されます。面談は2回以上になります。
- 提出書類** エントリー時＝エントリーカード・成績証明書・卒業証明書・日本留学試験(日本語試験)結果 他
出願時＝入学願書・健康診断書

願書提出(出願)期間・合格発表日・手続期間

願書提出(出願)期間 [必着]	合格発表日	手続期間
2011年10月11日(火)～10月14日(金)	10月16日(日)	10月17日(月)～10月21日(金)
2011年11月14日(月)～11月18日(金)	11月20日(日)	11月21日(月)～11月25日(金)
2011年12月12日(月)～12月16日(金)	12月18日(日)	12月19日(月)～12月27日(火)
2012年 1月16日(月)～ 1月20日(金)	1月22日(日)	1月23日(月)～ 1月27日(金)
2012年 2月27日(月)～ 3月 1日(木)	3月 4日(日)	3月 5日(月)～ 3月 9日(金)

※AO入試は各学科とも定員になり次第、終了となります。

2010年度 秋学期入試(留学生入試)結果

学部	学科	志願者 エントリー	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	1	0	0	0	0	0
	コミュニティ政策	0	0	0	0	0	0
人文	欧米文化	0	0	0	0	0	0
	日本文化	1	1	1	1	0	0
人間福祉	児童	—	—	—	—	—	—
	人間福祉	—	—	—	—	—	—
合計		2	1	1	1	0	0

※募集定員は各学科若干名。児童学科・人間福祉学科では実施せず。

2011年度 春学期入試(留学生入試)結果

学部	学科	志願者 エントリー	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	31	12	23	9	20	8
	コミュニティ政策	36	20	25	16	21	15
人文	欧米文化	21	14	15	8	15	8
	日本文化	19	13	13	9	9	8
人間福祉	児童	—	—	—	—	—	—
	人間福祉	15	7	10	5	10	5
合計		122	66	86	47	75	44

※募集定員は各学科若干名

編入学試験

秋学期入試(2011年度)

<小論文・面接型>

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科のみで実施

出願期間	＜郵送は下記期限内、インターネットの場合は6月29日(水)12時(正午)迄＞ 郵 送 2011年6月1日(水)～6月29日(水)[必着] 窓口受付 2011年6月29日(水)9:00～12:00
試験日	2011年7月2日(土)
審査方法	小論文、面接
合格発表	2011年7月5日(火)
手続期間	2011年7月5日(火)～7月12日(火)

<AO方式[レポート]型>

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科のみで実施

エントリー受付	2011年4月1日(金)～7月29日(金) ①7月23日(土)までのオープンキャンパスを含む事前相談にて、エントリー許可を受けていること。 ②7月29日(金)までに、エントリー時に必要書類を提出できること。
審査方法	面談方式＝レポート・資料・課題等の提出による面談

願書提出(出願)期間・合格発表日・手続期間

願書提出(出願)期間【必着】	合格発表日	手続期間
2011年8月24日(水)～8月26日(金)	8月28日(日)	8月29日(月)～9月2日(金)

春学期入試(2012年度)

<小論文・面接型>

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科、人間福祉学科のみで実施

出願期間	＜郵送は下記期限内、インターネットの場合は1月18日(水)12時(正午)迄＞ 郵 送 2011年12月14日(水)～2012年1月18日(水)[必着] 窓口受付 2012年1月18日(水)9:00～12:00
試験日	2012年1月21日(土)
審査方法	小論文、面接
合格発表	2012年1月24日(火)
手続期間	2012年1月24日(火)～1月30日(月)

<AO方式[レポート]型> 全学部・全学科で実施

エントリー受付	2011年8月1日(月)～2012年2月1日(水)[1月28日の事前相談による] 児童学科のみエントリー受付:2011年9月1日(木)～11月25日(金)
審査方法	面談方式＝レポート・資料・課題等の提出による面談
面談【審査】日	面談Aの実施日時は、エントリー者に別途連絡します。ただし、面談を受けるには、面談実施予定日の3日前までにエントリーカードを提出(郵送必着)しなければなりません。面談Bの実施日は、面談Aで告げられます。いずれの場合も面談の開始時間は、エントリーカードや課題の到着後に連絡いたします。面談Aと面談Bの間にレポート等が課されます。面談は2回以上になります。
提出書類	エントリー時＝エントリーカード・成績証明書・卒業証明書 他 出願時＝入学願書・健康診断書

※エントリー資格は各入試要項をご確認下さい。

願書提出(出願)期間・合格発表日・手続期間

願書提出(出願)期間【必着】	合格発表日	手続期間
2011年10月11日(火)～10月14日(金)	10月16日(日)	10月17日(月)～10月21日(金)
2011年11月14日(月)～11月18日(金)	11月20日(日)	11月21日(月)～11月25日(金)
2011年12月12日(月)～12月16日(金)	12月18日(日)	12月19日(月)～12月27日(火)
2012年 1月16日(月)～ 1月20日(金)	1月22日(日)	1月23日(月)～ 1月27日(金)
2012年 2月27日(月)～ 3月 1日(木)	3月 4日(日)	3月 5日(月)～ 3月 9日(金)

※AO入試は各学科とも定員になり次第、終了となります。

<トランスファー制度>

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科のみで実施

出願資格	海外の大学・短期大学のAssociate of Arts(AA) degreeを取得していること
出願期間	＜出願はインターネットのみ＞ 2011年8月1日(月)～2012年3月6日(火)12時(正午)迄 窓口受付※ 2012年3月9日(金)9:00～12:00 ※窓口受付希望者は事前連絡が必要
審査方法	書類審査、(インターネット及び電話でのインタビューを行う場合もある)
出願書類	入学願書・志望理由書(日本語・600～800字)・ Reference(Recommendation) Transcript・学位取得証明書(AA degree)・健康診断書 ※検定料の取納に関しては、出願確認後、大学から連絡いたします。
合格発表	随時
手続期間	大学指定期間(合格発表通知後約1ヵ月以内を予定) ※4年制大学・短期大学において、1年以上の修了者で、31単位以上を取得している方、または取得見込みの方は、編入学試験(<春学期入学:小論文・面接型> <AO方式>)をご確認ください。

2011年度 春学期入試(編入学試験)結果

学部	学科	志願者 エントリー	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	8	3	5	2	5	2
	コミュニティ政策	2	1	1	0	1	0
人文	欧米文化	1	1	1	1	1	1
	日本文化	3	2	3	2	2	1
人間福祉	児童	0	0	0	0	0	0
	人間福祉	1	0	1	0	1	0
合計		15	7	11	5	10	4

※募集定員は各学科若干名。

2010年度 秋学期入試(編入学試験)志願者／エントリー者はいませんでした。

入学前準備教育

英数国講座

本来高等学校卒業までに修得しておくべき教育内容を確認し、補う授業です。また、大学で学ぶ土台づくりにも、就職活動にも必要となる内容です。大学の90分授業に慣れる、友だちができる、などのメリットもあります。

基礎英語

- 大学での英語とのつきあい方

リスニング編

- リスニング基礎の基礎
- 音の聴き取り
- 音の変化を聴き取る
- 総合演習

英文講読編

- リーディング基礎の基礎
- 日常英語その1
- 日常英語その2
- ストーリー性のある文章

文系国語表現力基礎

- 思考養成ワーク1
- 思考養成ワーク2
- 現代社会を考える1
- 現代社会を考える2
- 日本のことを考える
- 環境問題を考える
- 平等意識を考える
- 大学に入って学びたいこと
- 他人の文章を読む

基礎数学完成

取り上げたテーマ

- 円
- 扇形
- 三角形の性質
- 速さ
- 濃度
- 仕事算
- 約数・倍数
- 記数法

2011年度実施日程

2月講座

2月7日(月)～10日(木)、15日(火)～18日(金)、21日(月)～23日(水)

3月講座

3月7日(月)～11日(金)、15日(火)、16日(水)、22日(火)～25日(金)・・・計11日間

※震災のため、3月15日以降の講座を中止、代替として課題を受講生に郵送し、添削しました。

英語集中講座

高等学校で学んだ基礎英語からステップアップするプログラム。

入学後に始まるネイティブスピーカーによる聖学院英語教育プログラム[ECA Speaking]のよい準備となる講座です。

2011年度実施概要

実施日程 2月24日(木)、25日(金)、28日(月)、3月1日(火)、2日(水)

プログラム

A. ベーシック・イングリッシュ English Time

このクラスは、4月から聖学院大学で勉強をする英語のクラスに慣れ親しむことを目的としています。講座では、サンプル・レッスンをもとに、アクティビティーを取り入れて、課題に取り組みます。

B. ステップアップ英語 Step Up English

リスニング・スピーキング・リーディング・ライティングに役立つ基礎文法力アップの講座。資格試験でスコアをアップしたい、または英語の4 技能をもっとフルに活用したいと思っている人のために、短期間で集中して文法の見直しが出来る講座を用意しました。この講座は文法の説明だけでなく、短い会話を含めた口頭練習を取り混ぜて、より英語らしい英文の表現が出来るように、総合的な英語力アップを目指します。欧米文化学科で「英語強化プログラム」に参加したい人や、留学・資格試験の受検を考えている人には特にお勧めです。

その他特別プログラム

聖学院大学で、充実した4年間を過ごしていただくためのプログラムです。

面談

英数国講座の受講者を対象としたプログラム。受講生は面談シートをあらかじめ提出し、聖学院大学の学生スタッフが面談します。

English Day

2009年から、入学前準備教育で実施された特別プログラム。2009年は、ネイティブの英語教師と接し、歌やゲームを通して英語に親しむプログラムでした(3月講座で実施)。2010年は、アメリカ人の団体、ヤング・アメリカンズ約50名と接し、歌やダンス等を通して「生きた英語」に親しむ、というプログラムを行いました。いずれも、気軽に英語に親しみ、コミュニケーション能力を高めるきっかけになるように楽しんで学ぶ体験を目的としています(2009年、2010年実施)。

カフェ・トーク/ワールド・カフェ

2010年入学前準備教育で、初めて実施したプログラム「カフェ・トーク」。これはワールド・カフェのコンセプトを展開したイベントで、リラックスした雰囲気の中、一日かけて、一つのテーマを話しあうというもの。このイベントを通して、「考える力」や「コミュニケーション力」を養うのが狙い。なお、本イベントについては、入学前準備教育の、卒業生・学生の運営スタッフが主体となっており、企画・準備を進めました(3月講座で実施)。2011年も予定をしていましたが震災のため、講座期間中の開催を中止。4月19日希望者が集まり「震災で私たちは何ができるか」をテーマに「ワールド・カフェ」を行いました。

入学前準備教育受講状況

受講生数

	英数国				情報リテラシー			英語集中	計	実受講者数計
	2月	3月	DVD/ビデオ	小計	2月	3月	小計	2月		
2007年	204	125	12	341	156	102	258	47	646	349
2008年	181	66	—	247	80	—	80	59	386	271
2009年	150	75	—	225	86	53	139	43	407	242
2010年	140	71	—	211	—	—	—	47	258	232
2011年	111	72	—	183	—	—	—	55	238	206

入試別受講率(英国数講座のみ)

入試	推薦	AO	自己推薦(自己表現)※	一般A	一般B	その他
2007年	187名	62名	21名	45名	22名	4名
	75%	57%	50%	48%	39%	—
2008年	115名	70名	23名	30名	8名	1名
	49%	42%	48%	34%	20%	—
2009年	109名	63名	24名	22名	6名	1名
	49%	34%	45%	29%	26%	—
2010年	90名	65名	17名	24名	13名	2名
	52%	38%	50%	42%	27%	—
2011年	71名	78名	—	17名	11名	6名
	55%	86%	—	35%	28%	—

※2009年度まで自己表現、2010年度より自己推薦入試、2011年度は自己推薦はその他でまとめて集計

プレゼンテーション

英数国講座の受講者を対象としたプログラム。これまでの入学前準備教育を振り返り、今後の学生生活でどのようなことにチャレンジしたいかなどを各自発表します。

情報リテラシー講座

聖学院大学では、「情報リテラシー講座」が1年次の必修科目となっています。2009年まで入学前準備教育講座でも開講していました。

受講料(2011年度例)

2月講座

英数国講座+英語集中講座	30,000円
英数国講座のみ	20,000円
英語集中講座のみ	10,000円

3月講座

英数国講座のみ	20,000円
---------	---------